東亞

大正二年二月十一日第三種郵便物認可

第四三〇號

大正十年五月十六日 毎月曜日發行

Vol. VII. No. 430. THE SHANGHAI, JAPANESE WEEKLY

發行所 春申社

上海嵐山路〇A八號

電話北二八五七 振替口座福岡四七〇五番

▲目次

□社論 外人干政の籍口
□週間要報 支那の財政と内閣關係 小野副總裁の談 上海造船所借欵 支那の三聲明
□上海報界の過去及現在(三六)
□典籍と自己と現代(六)
□支那人の日米問題觀(二)
□清代思想界の變遷(十四)
□支那時事日誌
□雜報 工場制定と紡織聯合會 其他
□漢字新聞論調
□金融市況
□公人私人

一 二 三 四 六 七 七 八 九 十 十一 十一

外人干政の籍口

支那の時局を觀察するに當りて、吾人の最も嫌焉たらざるものは、籍口の言議なり、即ち支那朝野の籍口に最も巧みなる外支那人の籍口を再籍口するに最も巧みなる外人あることなり、向きに一時喧かりし裁兵廢督自治運動の如き奉直兩派の地盤爭執より來りたるものにして、其運動の糸を引くものは中央に在り、此系によりて官僚紳士は馬首を本省に向け、政客と協同し、以て裁兵、廢督、自治を籍口し、以て直派の奉派に對する地盤護得策を防ぎたり、外人亦政客紳士官僚等の籍口を故意に籍口とせず、此運動を意義あるものゝ如く慫慂したるが、其籍口の魂膽は一方廢督と裁兵は新銀團の成立を促かし、一方日本を牽制するに在りたり、既往此の如きが、最近の籍口言議の大なるものは、日英同盟經續に關する英人の山東問題二十一個條等に對する籍口と、内閣改造問題より出づる、支那人の外人干政論の籍口是なり、先づ本月十三日のデリー、ニュース所論の一節を紹介せん

吾人が支那政府の態度に關して明瞭なる表示を得たるは實に昨日なりとす、即ち曰く若し同盟が更新せられて尚支那に說議する事なく同國に對する何等かの暗示する所あらんか支那は之を以て『獨立國の名譽と威信に對する侮辱』と思惟せんと、然れど支那國民中の識者の感情は之より更に廣範圍に亘るものと信じられ得べし、青島、二十一ヶ條要求案及び支那軍閥に對する無數の借欵其他外間の知悉せざる日本軍隊憲兵の枚擧に遑なき小壓迫等は支那數億の民の日本に對する前途の形勢と强烈なる遺恨を以て暗雲ならしむるものなり吾人は不可能なりとは云はざるも如何なる形勢も同更新の支那に對して何等敵對のものに非ざることを支那國民に納得せしむるは極めて困難ならん、而して極東に在住する英國々民が本同盟を無條付にて承認すべく表示する事亦不可能なり滿洲に於ける所謂門戸開放』の愚弄並びに日本に於て權力を有する或一派が戰時中隣國の混亂に乘じて平和の時代に於ては全く爲し得ざりし性質たりしが如きもの、を支那より無理に讓歩せしめて利得する所ありたりとの醜陋なる嫌疑は共に忘却し得ざるものなり若し英國が支那に對する友情の美名をして數年前損害を蒙らしめざらんことを望まば更新すべき同盟は之を充分に作成せざるべからず云々

次ぎは内閣問題中の財政交通兩總長の更迭難によりて、籍口せらるゝ外人の口吻と外人干政論は是なり、財政總長問題は醞釀已に一日にあらざるなり、舊交通系及其他政客は、再び新交通系曹汝霖の變相者たる張孤を出すべかずと云ひ國恥紀念日に事を寄せ、盛んに新交通系を攻擊し日本を排し、更らに日本の財政監督要求論を以て恫嚇し、籍りて財政總長の更迭を頓挫せしめたり、即ち日本は一方國際的共國活動外人干政を醞釀し、他方西原借欵善後の名義を籍りて、零碎なる單獨活動を爲さんとす、國民は北京政府をして段祺瑞當國の覆轍を蹈襲し、再び外債を浪費するの機會を作らしむべからずと云へる論議の如きは、財政總長更迭頓挫に最も與かりて大に力あり

夫れ日支は一衣帶水、離るべからざる關係に在るの故を以て、兩國間の交渉案件は、列國の案件の比にあらず、從つて政客政爭の具として籍口せらるべき材料誠に多し、之が爲め日本の勢力を忌むの外人は、籍口せらるべき支那政客の材料を再籍口し、日本と難を搆ふる爲め日本は常に不利なる地位に立ち、常に衆矢の標的となる、然れども是れ支那に於ける日本の優越せる天與の勢力之を然らしむる結果にして又已むを得ざるなり、故に日本は支那朝野の對内對外相應じて用ふる所の惡辣なる技倆の進歩の日に甚だしく、又此技倆が外人の日本牽制策上、一層酷く助長さてゝや必せりと達觀し、外人干政論に囚はれず、支那保全の國是の爲め爲すべきを爲し、絲毫も已れを捨てゝ、人に從ふの態度あるべからず

（白川生）

疎々録

▼コンマダー、ケンウオルシー氏は、日英同盟條約批准に先ち、議會に於て討論の機會あるべきやと尋ねた所が、チエンバーレン氏は皇帝の條約權能を妨ぐる約束を爲す能はずと答へて居る

『皇帝の條約權能を妨ぐる約束を爲す能はず』とは、誠に意義深い、誠に共鳴せざる能はない、政治は民主主義にやつて、ソヤして自由で、而かも皇帝を仰ぐ所、眞に追慕の念に堪へない、日本は好い友邦と同盟したものである、今更でもないが、英國の自由が千變萬化して、妙用さゝゝ所以の皇帝を仰ぐに在ることが、スツかり認得せられた

▼自由になるには自由になるだケの土台がある、即ち一定不變、天地を共に悠久なる眞理がある、此眞理を實際行ふべき人格其者と其眞理を實際に行ふき位置其者が、英國の皇帝である、此一定不變の土台を以てするから、自由が活潑々地に働く、政治が甘く行はると評しても好い

▼君は君、臣は臣、主人は主人、下女は下女、下僕は下僕、コンナ自由なことはない、君の自由を尊重することは、臣の自由を尊重することである、下僕の自由を尊重するから、主人が尊重される、主人自由を尊重するから、下僕の自由を尊重することになる、乃で君君臣臣と云ふことが、直ちに自由思想と今致する譯である、又自由は孟子の所謂浩然の氣に當たると云ふものがある、義を積んで浩然の氣は發する、義は宜で、宜しきことを積むから、自然に發露する又自由の解釋を肯かしむるに定る

▼何れにしても英國の自由は、東洋の所謂一定不變の大道を主體として生んだ、言葉だと云つて好い、即ち君君臣臣と云へば、君君臣臣たるべき大道が出る、自由自由と云へば、眞理が出るだと云つて好い

▼黃浦江の水とテームス河の水が息に通ずる、道に國境ない、此道を活かす爲め支那に皇帝が一日も速かに欲しい、皇帝出で、君君臣臣即ち自由が活く、此に於て國治まる

●資本金 壹億圓拂込濟
●積立金 五千三百萬圓

本店 横濱
支店 東京、神戸、大阪、長崎、下之關、倫敦、里昂、大連、漢堡、シドニー、紐育、桑港、ロスアンゼルス、シヤート、蘭貢、布哇、孟買、カルカツタ、マニラ、西貢、香港、青島、新嘉坡、スーラバヤ、濟南、府、漢口、天津、北京、牛莊、大連、奉天、開原、長春、哈爾賓、鹽浦、斯德、バタビヤ、スラバヤ、ヴエノス、アイレス、リオ、デジヤネイロ

上海黃浦灘路三十一號

横濱正金銀行

支配人席 三〇〇四
輸出係 三〇〇七
送金係 三二七二
金係 三二〇
預金係 三三〇九
輸入係 三三二四
出納係 三三三四

電話

●資本金 六〇、〇〇〇、〇〇〇圓
●拂込濟 四五、〇〇〇、〇〇〇圓
●積立金 一〇、三八〇、〇〇〇圓

本支店及出張所

臺北、臺中、臺南、基隆、嘉義、高雄、宜蘭、淡水、新竹、屏東、花蓮港、臺東、澎湖島、東京、横濱、大阪、神戸、香港、廣東、汕頭、厦門、福州、九江、漢口、新嘉坡、スラバヤ、スマラン、紐育、倫敦、孟買、桃園、バタビヤ其他各所ニ取引先アリ

上海黃浦灘路第拾六號

臺灣銀行

支配人 柳田直吉

輸出輸入係 一、三三一
預金、送金係 二、一六三
丁客專用 三、四八〇
買辦部 三、四八一
二、八四一

週間要報

支那の財政と內閣關係

▲官僚界惡技倆の暴露▼

（一）

天津會議は中外人の注目を惹きしが、今や四頭目は北京に入りたり、曹張王の三頭目は支那の今日に於ける軍閥の重心なり、此三人は聲ばかりの孫文討つの通電を發し斬內閣に對しては始終維持せざるべからずとの通電を發せるが、根本問題たる支那の財政及內閣關係は事容易に解決すべからざるに似たり、否ヨシ財政策は四頭目によりて諒解せられたりとするも其之を實行するに當りて舊交通系の閣員を去りて斬が手一杯に財政を切盛し得るかゝ問題にして從つて這は內閣改造問題と關係甚大此事は日々囂しく尙ほ容易に定まらざるが如し、而かも財政と云へば事外債に關することなれば支那の財政及閣員問題は、又同時に外交に牽涉せざるを得ず、此に於て親米か親日かとの言議現はれ進んで支那の生死存亡の岐るゝ所なりとの言議も出で、更らに進んで所謂國際管理論も生るゝに至れり

斬內閣の財源たる財政と交通兩部は、全く奉派の援助の下に舊交通の手に歸したり、之が爲め斬の女房役たる潘復との不和を生じ財政總長周自齊は常に潘の掣肘を受けざるを得ず、爲めに周は大に困却し天津會議開催前已に病と稱して辭表を呈し、交通總長葉恭綽は少年氣鋭、更らに軍閥の歡心を買はず、常に斬雲鵬と衝突を免れざりしが、斬は援を張作霖に求め曹錕に求め、更らに王占元に求め、天津會議を開かしむる運びを取るに至りたり、此形勢を見たる葉は自已の地位危きを憂ひ、自ら進んで天津に至り巨金を工面して蒙古征討費を出すを以て地位を確保せんことを求めたり、之が爲め五百萬の定期特殊支拂劵の發行を見るべく、圓滿なる解決を見たりと報せられしが、其後葉恭綽の支拂劵發行の事は如何なる障害ありしか不可能となり葉の地位は又も危險を生ずるに至れり、此事に關し八日の北京亞細亞通信は左の如く報じたり、此間の內容を窺知するに足る

（二）

內閣改組問題は天津會議に於て決せず三巡閥使の聯袂上京となり從來の張、曹、王、斬四頭會議は更に徐總統を加へたる五頭會議に於て尙容易に決せず之が改組發表を見るは尠く共兩三日後なるべしとの由なるが斯の如く一改組問題にて北洋巨頭の討議二旬に亘り尙未だ確定せざるは全く葉交通總長の去留問題に關し各方面の利害關係一致せざるが爲めにして其間の情狀頗る復雜にして容易に窺知し得ざるものあり即ち當初天津會議が北洋派の團結を鞏固たらしむる方便としての內閣擁護も一は折柄焦眉の急に迫れる外蒙軍の進出問題業者の梁宅集議となり解任命令發表と同時に辛辣なる手段を開始すべき更に從來よりの重大問題たる運輸裁兵、統一といふが如き根本問題の協議を目的としたるなるも其實三巡閥使の勢力均等策に出でたるに過ぎず して斬總理が葉恭綽より出つる舊交通系の竦手に堪ふ可からずとし三使に對し衷情を愬ふる所あり一方閣員の辭意堅くして到底復任せざるものの復任問題あり期せずして會議の中心は閣員の詮衡に傾き來り爾來葉總長の去留如何を更に問題の核心として討議を續けたるものなるが三使會議の首班を占むる張作霖は從來葉總長を通じて舊交通系と深き因緣あり斬總理の切望する所を排して同總長の留任に保證を與へつゝありしは事實なると俱に葉氏が自已の椅子危險なりと觀て極力各方面に運動し特種支付劵の發行、外國借款の成立等に成功し尠からず金策に奔走したる結果張使は勿論王曹二氏の諒解を得て一時位置の安定せるを見斬總理亦潘復の財政總長昇任を以て留任の承諾を與ふるの已む無きに到れる所其後漸次王曹二使の接近して暗に反張的態度を執り來るや斬總理は再び排葉を主張し徐總統の內意をも受けて態度頗る硬化したるを傳へ今日に到れるものなるが葉總長は一面張使を背景とし他面財政的術策を以て留任の意を明かにして敢て總理に屈せざる態度を示したるも昨今の形勢にては遂に葉の辭任を餘儀なくさるゝが如き狀態にあり尙一兩日を經ざれば判明せざるも若し之が事實となりて現れば舊交通系は全力を盡して直に倒閣運動に着手し必ずや先づ財界に於ける傳統的勢力を利用して斬內閣をして更に一層の財政難に陷らしむ可く今日早く此形勢を觀て取り梁士詒一派の豫備的活動となり同系銀行

果して之を以て默過すべきか立他面に於て總理唯一の股肱たる潘財政次長の昇任問題が同じく實現し得ざる形勢に陷り來るもあり斬總理の面目は全く丸潰れとなり殆んど其傀儡的内閣に過ぎざるが如きに對しては勿論其任に止るを欲せざる可く或は辭表提出の一幕を演ずるに非ざるなきか舊交通系の支持運動に何等かの成果を見たる時と斬總理の主張に毫も貫徹する所無き場合に於て局面は更に一變すべきを免れず云々

（四）

進んで段派及日本と支那財政及内閣の關係を叙せざるべからず、舊交通系の援助者と云はれし張作霖は財政總長は誰れにても可なり能く借欵し得る能力あるものなれば其人にて可なりと云ふことゝなりしを以て、段派の人物を財政總長とすとの說出で、張孤の如きは曹汝霖陸宗輿等の變相者として擬せらるゝ至りたり、余適五月四七九日の所謂國恥紀念日の前後なりしを以て北京上海各方面の新聞は、何れも國恥紀念日の社論を籍りて盛んに段派曹汝霖等勢力の抬頭せざることを預防的言論を吐きて牽制策に資し、更らに北京通信も電報も共に排日を籍りて段派の抬頭を防ぐの策に出でたり、即ち支那新聞中排日親米派は或は順正公司は青河盟條件に在り、曹張は證人たり、今に開港借欵反對熱生せしに乘じ成立を促進せんめんとすと云ふあり、或は日本は金融を以て支那の生命を制せんとするものなるが曹汝霖の手を經たる借欵に期限到着のものして約二億萬に達したれば日本は財政監督の論を歐米に流布し斬内閣を壓迫し商順吉會等の四鐵道を廢止し別に一正式の大條約を訂結すべし、然からば日本より數千萬元を立替ふべしと云ひしも靳より撥ね付けられたゝと云ふものあり、又雜報欄に紹介せし如く、上海排日團體江蘇教育會等の諸團體は借欵反對電を北京に發し又全國學生聯合會は小幡公使に借欵說に對して公函を送りたり斯かる事情の爲めか、財政總長に擬せられし曹汝霖の變相者と云はるゝ張孤は就任を拒絶したりと報じ或は新交通系は張孤を擁立して成らざれる爲め中日實業公司の李士偉を立てん考へなりと傳へ或は當局は財總長の人選に窮しつゝありと報じ報道紛々歸着する所を知らず、隨つて内閣改造問題は依然として解決なし

（五）

更らに内閣改造問題殊に財政總長に就き、軍閥會議の外に尙ほ外交と關係あることは、看過すべからざることなり、軍閥は金を工面するものなれば誰れを財政總長とするも可なりと云ふも、其之を爲すに就きては勢ひ外債を借り得る能力者ならざるべからず、此に於て親歐米排日的種々の說は報せらる、又靳の主張せる交通部特別會計の如きも外人の資本家の非難に託して種々の報は傳はると云ふ、即ち左に之に關する諸報道を摘録せんか

▲内閣問題相持するの點は昨年八月張作霖は表示なし、十一日夜靳宅會議には葉恭綽を去るに決し別に相當の位置を與ゆる事となるが、曹張王は何れも贊成し後任は張志潭とせるも張は依然辭す、齊耀珊の内務運動は甚だ力むるも曹王之に贊成せず、財政總長李士偉說は最も有力なれども未だ確定せず（十二日申報北京）

▲李士偉財政總長につき靳は已に人を天津に派し李の入京を求めたり李は日本人の買辦なれば輿論は大に非議せり、某要人の言に依れば、端午節に中央は一千五百萬を要するが財政總長たる人物は必ず此千五百萬を工面するものにして始めて入閣するを得るか、其之を爲すには日本公債を借るにあらざれば功を爲す能はずと云へり、又別の消息によれば日本人は曹汝霖の手を經たる欵は六千萬あり担保不確實なる爲め目下某代表を北京に派し大口の借欵に合併せんとし担保は煙酒稅の担保を指定し條件は大體定まり、李士偉は其仲買人の一にして將來財政總長の名義を以て國家を代表して條約に調印すべしと（同上）

▲銀行界は交通系内閣を去りて、融通動かず、曹王は交通系の維持を調停するも聽かざるも、即ち列國は交通部特別會計が借欵担保品の保障たるを以て若し改めて一般會計とせば担保品は必ず薄弱なり、果して實行せば借權者は必ず其事に參與するを要すと云ふ、因りて共管問題は又交民巷に起れり

▲九日電に依れば歐米資本家は日本と同時に債務を清理せんことを主張せり、交民巷の日本小野の來支して鐵路借欵を整理することに對してなり、其中高徐濟順滿蒙四鐵道は何れも新銀團に提供するの明文あり、日本の單獨清理を要せず、當時決定せず、人の先を爲さず日本の手を出すは時を俟つて此議を發表す、小野の來支は特に打擊を受けんとす（同上）

▲各省公團は日本債續欵反對を寄せ來れり、政府は返電して否認せり（同上）

此等の報道は要するに政爭者の雙方が外國人の口吻を借りて事を中止せしめんとするか、地位を維持せんとするか、其間の迂曲と蓄心の在る所は綿密なるものにして、到底外人の企及すべからざる點なり、即ち政爭者の伎倆の惡進歩にして事實を外人の財政監督を自ら進めつゝありと云はざるべからず、北方政府と關係ある中華子が來る十五日日本の對支方針討議開かるとの報に事を寄せ日本は一方國際盟の趨勢を醞釀せしめ、一方亦西原借欵善後の名義を籍りて單獨活動を爲すべしとて、國際監理論を以て國民を恫嚇し、事實政敵新交通系の抬頭を防ぎ、併せて仇敵たる孫文等あり統一を防ぐべし自黨等は此國際盟論を防ぐべく統一を慫慂するものなりと自家防衛に資するなど、一として支那政界の汚穢を示さざるなく、今更らにあらざれども呆然たらざるを得ざる所なり

●小野副總裁の談

▲亞細亞通信所報▼

余今次來京の目的は一面滙業銀行總會に列席すると俱に曾て寺内内閣當時臺灣、朝鮮、興業三銀行共同にて出資したる鐵道借欵善後策を支那側と協調し然るべき辯法を講せんとしたるものなり即ち寺内内閣は支那の交通的開發を目的として滿蒙四鐵道吉會鐵道、山東二鐵道の七線を敷設すべく總額五千萬圓の前渡金を交附し假契約を訂結したるものなるが右金額は東京に於て興業債券を發行し一般國民より募集したるものにて應募者に對しては當然各定期利子の支拂ひを爲さざる可からず然るに支那政府は契約當時より昨年上半期迄引續き何等かの方法を講じて所定の利子を支拂ひ來りたるが同下半期より本年只今に至る迄全く未拂にて一回の送付をだに受けず今日にては契約に依る未拂利子既に二百萬圓に達し其間救次支拂ひ方督促する所ありたるも不得要領にて最近に到りては更に種々なる政治的障碍を發生して容易に契約を履行する能はざるが如き狀態に立ち到り何等か此際適當の辨法を講せざれば債券應募者に對する額面利子は銀行にて立替支拂ひを更に繼續せざるべからず乃ち斯る事は銀行業者としての立場より、甚だしき銀行側の不利を免かれんが爲め支那政府の利子支拂を實行する樣交涉せんとするのみにて支那新聞にて傳ふるが如き煙酒稅擔保の新借欵交涉其他所謂大借欵と稱するもの、如き當時の鐵道借欵を以てして尙斯くの如く困惑を生じ居るに何を好んで重ねて不利を招かんとすべき、幵は憶測に過ぎざるを明言せんとす余は支那政府が昨年上半期延期支拂ひ來りたるものが假令多少の困難なる事情を生じたりとするも苟くも支那政府なり斯る借欵利子位は當然支拂ひ得べきものなりと信じ居れり唯だ甚だしき政界變動の爲め或は聊か遲延を來すは免かれ難き所とするも孰れにあれ余は一個の銀行業者として三銀行を代表し利子現金の受領方を直接交涉せんとするに過ぎず

右は興業銀行の直接關係したるものゝみなるが之以外尙天津水災借欵一億圓に對する定期利子も均く未拂なるを以て當然前述鐵道借欵利子支拂交涉と同時に同一交涉の步を進む

日本郵船株式會社

本社日本東京

所有汽船百餘隻　總噸數五十萬噸

上海　二週一回
歐洲行　二週一回
米國行　一週一回
香港行　一週三回
日本行　以上

其他日本各港濠洲印度朝鮮支那等諸航路有り

日本郵船會社
上海支店長
松平市三郎

北汽船會社代理
北鐵道

The Bank of Chosen.

朝鮮銀行 上海支店

上海南京路第七號

資本金八千萬圓
拂込資本金五千萬圓
積立金八百五拾參萬圓

本店 朝鮮京城南大門通
京城三三番
振替貯金口座
預金、貸出、割引、爲替、外國爲替、地金銀賣買
其他一般ノ朝鮮滿蒙浦潮斯德及亞港ニ於テ金庫事務ヲ取扱申候

支店及出張所
内地 東京、大阪、神戸、下關
朝鮮 釜山、大邱、仁川、平壤、鎭南浦、元山、咸興、木浦、清津、會寧
滿洲 大連、營口、瀋陽、奉天、撫順、新市街、鄭家屯、長春、吉林、安東縣、四平街、開原、鐵嶺、哈爾賓、博家甸、井村
支那 上海、青島、天津、濟南
露國 浦潮斯德（貸借交換所）
米國 紐育

總裁 美濃部俊吉
支配人 橋本萬之介

電話
中二三五五 支配人室
中二三九四 營業所
中二一九四 輸出係
中二三六 買辦室
中九七七 買辦室

右ノ外倫敦、巴里其他内外幅輳ノ地爲替取引先有之候

べく擔保問題に關しても勿論商議する事となるべし、尙山東省濟順高徐二鐵道は四國銀行團成立と俱に同團の共同投資範圍に入り前渡金二千萬圓は日本側分擔額の一部たるべしと謂ふ者あるも該鐵道は明かに我國の單獨權利を有するものにて今日迄何等銀行團より交渉に接せず我等當時者間に於ても何等之が研究を爲したる事無く隨つて銀行團の範圍に歸すべきものとは信じ居らず、即ち以上て海軍部の上海江南造船所抵當外債の如く余の來京用務は單に利子支拂交渉に過ぎずして他に何等の政治的意味を含まず全く單純なる一個の銀行業者としての用件を帶へるのみなる事を確言すべし云々

●上海造船所借欵

▲米支五百萬元借欵說▲

米支借欵說は由來傳へるゝ所なれども、成立するもの少なきを常とし來れり、在支米商は多くコンミッション商にして必ずしも本國商より大權限を與へ居れるにあらざるに由るならん、昨今傳へらるゝ江南造船所抵當の五百萬元借欵も近く成立すと云ふも當てにすべからざるか如し、只だ報道の經緯を紹介すべく其まゝ記せば左の如し

北京政府の財政窮乏の今や極點に達し各行政機關は多く其の管轄範圍の物權を抵當として借欵し目前の遣り繰をなし居れり而して海軍部は久しく財政支出機關に漠視され部中の經費は支拂停滯額頗る多額に達し部員の官俸は四月に至つて僅に二ケ月分の百分の十五を支拂はれたる有樣にて海軍總長薩鎭冰は財窮を氣にして病氣となり辭職を求めたるも後任者容易に定まらず最近天津會議開かるゝや海軍司令李鼎新、藍建樞、杜錫鈞等は千里を遠しとせずして天津に赴き曹張王三巡閱使の膝下に奔走するが表面上は統一を贊成し南方海軍北歸運動問題に對し建議するが爲め支那の規定する航空機旅客貨物運輸稅を遵守する事

（理由）支那の通商運輸稅は各國の協定に依り自由を束縛され居れるを以て航空機の運搬に關しては條約の束縛を受けず

（二）郵便運送に關する聲明　支那領土を出入する航空機は支那と外國との郵便局間に直接運送以外の郵便を輸送するを得ず

（理由）現今支那各地に於て外國郵便局設立され居れば此等に對し自由に運送を禁止する爲め

（三）無線電に關する聲明　各締約國の航空機が支那領土內に於て國際無線報規約を遵守する外支那の無線電信規定をも遵守する事

（理由）目下各國の船舶が支那領土內に於て自由に無線電を使用するに鑑み航空機に對し之を制限する事

●支獨通商協約草案

▲第一聲明文

獨支通好協約草案原文左の如し

獨逸共和國政府代表ムールシイ照會をなす事、本代表正式委員を奉じ本國の名義を以て貴總長に向つて聲明する事左の如し

獨逸共和國政府は獨支の友誼及通商關係を恢復せん事を願ふ此の好關係は應に完全なる平等及切實なる相互主義に本つき普通國際法に負ふものに依る、一千九百十九年九月十五日中華民國大總統發布の對獨平和恢復の命令に依る獨逸は支那に對し盡す可き一千九百十九年六月二十八日百二十八條より第百三十條に至り發生する義務を擔任す

（獨逸は戰時非常制及ベルサイユ條約により已むを得すして凡そ支那と歸結せる所の一千八百九十八年三月六日の條約及その他一切山東省に關する文書並に獲得せる一切の權利產業權特權を放棄する事を陳述す）

此の故を以て獨逸は以上各種の權利產業權特權を支那に還附するの能力無し云々

又正式に聲明する者左の如し

在支領事裁判權の取消を承認す獨逸政府は獨逸北京駐在公使館所屬練兵場に關する全部の權利を放棄す右は支那がベルサイユ條約第百三十條第一項所載の官有財產等の文字は該地を概括するとなすが爲めなり並に支那各省獨逸軍人收容の費用を支那政府に償還する事を準備す

▲第二獨支協約本文

大中華民國大總統と大獨逸共和國大總統は本日大獨逸聲明の文書を以て根據となし兩國が協約を締結し友好及商務關係を恢復せん事を願ふ並に領土主權を尊重し平等相互各種原則の實行は各民族間親睦を維持する唯一の方法たるを悟り之れが爲め各全權委員を派遣する事左の如し

大中華民國大總統特派顏惠慶大獨逸共和國大總統特派ムールシイ各委員は全權委任狀を相互に檢閱したる後議定すること左の如し

第一條　兩締結約國は相互に正式代表を派遣するの權を有す此代表は駐在國に於て相互に國際公法上承認する所の一切の權利及免除權を有す

第二條　兩締約國內に他國の領事館或は副領事館が駐在する所は相互に領事或ひは副領事或は代理領事事左の如し

第三條　此の國人民が彼の國內に在りては所在地の法律規則を遵奉し遊歷居住及商工業經營の權利を有す但し第三國人民が遊歷居住及商業を經營し得るの地を以て限りとす兩國人民は生命財產の方面に於て均しく所在地法庭管轄の下に在り兩國人民は所在國の法律を遵守すべく其各種納稅は所在國本國人民が納付する額を超ゆるを得ず

第四條　兩締約國は關稅に關する一切の事件は各當該國內部の法令規定を用ふる事を約す但し兩國間或は他國產出の未製品或は既製品に對し納付する輸出入稅或は通過稅は該本國人民の負ふ納稅率を超過するを得ず

第五條　本日の獨逸共和國聲明文書及本協約各條件は他日正式條約の根據とす

第六條　本協約は支獨佛三國文を以て作製し解釋に不同ある時は佛文に據る

第七條　本協約は成るべく速かに批準して兩國政府相互に通知すべく批準の日より効力を發生す

▲第三獨逸代表照會文

獨逸はベルサユー條約を總括承認履行すること能はざるも若し獨逸が該條約の承認を欲する意あり且つ障碍ありて將來該條約を修正する時該條約中の各條欵第百二十八條乃至三十四條の外發生する所の各種の權利が支那の爲め關係ありと認め支那が其現在の原文に照らし或は將來修正するの時は其修正文に照して要求提出するの場合獨逸政府は反對せず

同上本代表は獨逸聲明文書及び獨支協約の字句解釋の爲め獨逸政府の訓令を奉じ貴總長に向つて聲明する事左の如し

●支那の三聲明

▲關稅、郵便運送▲

▲無線電に關して▲

本月七日國務會議に於て各條約に關し支那は左の三ケ條を聲明したる上各國の承認を得て批准する事に決定せり

（一）關稅に關する聲明　凡そ航空機が支那領土を出入する場合は支那

扱取品
棉花
綿糸
綿布
生糸

本店　大阪
支店　東京、横浜、神戸、天津、青島、漢口、大連、香港、孟買、甲谷陀、紐育、ボーストン、フォートワオース、ヤトシル

Ⓜ

江商株式會社　上海支店

上海北川路五十五號

電話　支配人席　〇一二二
　　人計　〇一二九
　　會計　九二九四
　　受渡　三九二三
　　賜房

本店　上海廣東路九號
支店　東京　丸之內　深川　日本橋
大阪　中ノ島船場　神戸
京都　名古屋　倫敦　紐育

資本金五千萬圓
拂込濟參千萬圓

株式會社　三菱銀行

電話　支配人席　中二九六三
　　營業室　中二九六四
　　買辦部　中二三四八

（一）在獨支那貨物の關稅協約第四條に指す所の兩國輸出入稅及び通過稅は當該國本國人民の負ふ納稅率を超過するを得すとの一語は支那がベルサユー條約第二百六十四條の利益を引用するに妨げなし

（二）損失賠償　獨逸聲明文書內稱する所の獨逸軍人收容費償還を準備すとの一節は獨逸がベルサユー條約中の原則に照し支那の損失を賠償する の外獨逸は尙ほ支那各省獨逸軍人收容費を償還するを願ふの意なり、獨逸政府は既に整理を受けたる在支獨逸人財產所得各金額の半及び未だ整理を受けざる各產業價値總數の半を負擔して回收す並に現金四百萬元及び津浦滬杭鐵道債券を支那政府に交付し戰時賠償金の一部となす

（三）在獨支那人財產在獨支那人の動產不動產は本協約批准後完全に還付す

（四）在獨支那學生支那留獨學生に對して獨逸政府は盡力して便宜を與へ其れをして入學或ひは實地練習せしめん事を願ふ

左記各項に對して貴總長の回答を望む

（一）獨逸人財產將來の保障　支那政府は在支獨逸人に對して正當なる營業は完全に保護を與へ並に普通國際法の原則或ひは支那法律の規定に依るの外再び其財產を差押へざることを承認するや否や

（二）司法上の保障　在支獨逸人の訴訟事件は全く新設の法廷により新法律を以て審理し上訴の權あるや否や並に正式の訴訟の手續を用ゐて辦理し訴訟機關に於て獨逸辯護士及通譯にして法廷の正式認可を經たるものをして幫助せしむるや否や

（三）會審公堂の事件　獨逸人の會審公堂に於ける原告被告事件につき支那は各來如何に辨理するや

（四）支那對敵通商條令　此項各種條令は協約批准の日より其効力を失ふや否や

（五）支那債務の整理支那政府はベルサユー條約第二百九十六條の共同整理所に加入の意ありや否や

獨逸共和國代表ムールシー

▲第四外交總長回答文

第一條獨逸政府が在獨支那人に對するを同樣辨理す

第二條獨逸辯護士は法廷の許可を經て幫助を爲すことを得

第三條獨逸人の會審公堂に於ける原被告事件は支那將來尙ほ一解決法を求め各方面とも公平ならしむ

第四條提案外に別に聲明す

曩に海關に登記したる獨逸商標は協約の日より當然其効力を失ふ國定稅率普通施行以前獨逸貨物の輸入は暫く通有稅率により關稅を納む

第五條共同整理所に加入せざることを聲明す又獨逸の爲め以上述ぶる支那政府に交付す等の語に照し支那政府は批准の日より獨逸人財產の整理所の戰時賠償の一部を擔任し並に支那政府は批准の日より獨逸人財產の整理を停止し並に前項（屯不文明）及び獨逸協約批准後整理所所得の各款及び差押へたる各產業を原所有主に還付す前記の辨法は和約第百三十三條第二項の整理差押へ及び獨逸人財產管理各事務に對する結末とす獨貨銀行及び工務局は支那主管機關より之と別に辨法を商議す唯北京漢口等の未だ整理を經ざる獨貨銀行の家屋は前項の辨法により現所有主に還付するを得

（中華民國外交總長）

以上原案は調印までに多少字句の修正あるべし

●兩廣の形勢

兩廣の形勢は已に雙方小競合ありしものゝ如く、又然らざるものゝ如く更らに信を措くに足らざるが雙方共に境界に於て互に防備を嚴にしつつあるは事實なり陸榮廷が廣東に對し四月二十七日附を以て痛罵電を發せしに對し、陳炯明も讓らず陸に對し五日附を以て返電を發したり即ち

第一電　は陳炳焜陸榮廷等が種々の口實を搆へ廣東軍に廣西進取の野心有るが如く流布するは反つて廣西軍に廣東進取の意志ある反証なりとし陳炯明の意志は二十四日附電報の如く省民自治の外決して他省を侵畧するの野心無きを反覆說明せるものなり

第二電　は陸榮廷が二十日附にて陳孫等が過激派と通じ女子の共有主義を實行せんとすとの謠言を放ち各省と廣東とを離間せんとする惡辣なる手段を攻擊し袁段の武力と數千萬の財力を以て猶且つ自滅を招けるに拘らず諸種廣西人の野心により干戈を動かすとも其の効無かるべきを說き終りに陳炯明は民意に依り各省自治を施行し共和の基礎を固めんとする外他意無きを誓ひ若し猶侵略の野心を以て來るものあらば三千萬廣東人と共に之を防ぐに躊躇せずと說けり

而して孫文は五日就任し其宣言を發すると共に正式政府を樹て、舊軍政府の取消を通告し、新たに各部總長任命を爲したり、即ち左の如し

外交總長伍廷芳、內政總長陳炯明、財政總長唐紹儀、海軍總長湯廷光、參謀總長李烈鈞各部總長陸軍總長は陳炯明兼任すべく各次長は外交伍朝樞財政廖仲愷陸軍程潛海軍林永謨參謀蔣尊簋總統府參軍長徐紹楨秘書馬君武大理院長徐謙

而して孫文は五日附を以て大要左の如く徐世昌に對し退位勸告電を發するに至れり

公は袁世凱の餘孽にして其の頭腦時勢に遲れ民主政治を解せず民國六年には督軍團と暴逆に與みし七年には非法國會に依り非法總統に擧げられ其後も常に軍閥の傀儡となり近頃に至り蒙匪の侵入及び復辟の陰謀と關係ありと傳へられ心ある人士は終に民國を公の手に亡さるゝに忍びず民國建設の責は國民全體の雙肩に在りとし民主政治を樹つべき人は民主政治に忠なるの人ならざる可からずと爲し予に托するに總統の重任を以てせり予不敏なりと雖も支那の民主政治が有明無實なるを見るに忍びず既に國民の附托を受け民國の實現に全力を盡さん事を期せり公宜しく既往の名の正しからざると自己の無能民國の爲めに有害なるを悟り即日引退すべきなり云々

尙ほ廣東國民黨機關紙廣東晨報は北京よりの消息として香港大守の北上の目的なりと左の如く報せり、排英の爲めなるか事實此あるか兎も角當地の民國日報の如きは此報道を捉へて嫌味を云へり

一、莫榮新の督軍時代英人との間に締結されし廣東全省煤礦採掘權の繼承

二、威海衛を還付する代り廣東灣一帶を英人經營の下に開港場となす事

右交涉の爲めにして之に對する北京政府の態度極めて軟弱なりと報せり

●日英同盟と支那

支那政府は昨年五月日英同盟繼續に關し英國に對し公文を發せるが、此公文は本月十一日發表せられたり、其內容は日英政府は其同盟期滿了せるが其繼續と否とは一年內に協商されんとすと云ふ、若し繼續すとせば同條約は修改を加ふべく此事は支那及極東と大關係あり支那人は之を聞いて皆驚けり、幸に之を國際條例に按すれば兩友邦の條約締結正當に訂約國に屬する權利と利益を含包すべきものにして此慣例は大戰後益鞏固となれり、蓋し國際平等は已に列國に對する金科玉條なればなり、同條約中依然支那及支那人民の全の文字あらば支那獨立の體面と尊嚴を侮辱するものなれば支那政府と人民は自然に任かせて抗議なきを得ざるなりと云ふに在り、然るに北京政府と關係ある中華紙は本月十三日社論を以て、支那抗議は極めて正當なりと云ひ、若し政府にして支那保全の文字を其まゝにせば第一體に關す、第二は日英の支那に於ける特殊勢力を認めしむるものなり、第三露獨等支那侵畧國なき今日日英に保全の文字を入れしむるは兩國の在支優越權を認めしむるものなり、國際聯盟ある今日皆平等なれば此際日英米支四國の平和的同盟を結び、支那の地主をして世界の富源を開發せしむべきなり、否らざれば支那は安心せず、米國は旁觀せず無窮の紛糾を來すべし、日英兩國は遠大の眼光を以て支那の抗議を是とすべし、國民亦大に賞撒の方法を講ずべきなり

●ブラジルの支那勞働者

江蘇特派交涉公署が近頃外交部より得たる電令によれば南米ブラジル駐在公使夏貽霆の報告によるに近年以來ブラジルの實業は大いに疲弊し工場の閉鎖するもの多く之によりて金融は大に恐慌を來し銀行の閉店するもの甚だ多しブラジル在住支那人の商業も多く其の影響を受け支那人勞働者の失業する者二萬人以上に達しブラジル人は此等の勞働者の始末に窮し居れり若し此の上支那人勞働者が渡來せば排斥の風潮を引起すべければ務めて渡航を禁止せざるべからずこいへり外交部は昨年二月夏公使より支那沿海各省にて奸商が勞働者を募集しブラジルへ送るを以て取締るべしとの電報に接したるよりこれを實行し居たるが今後は更に取締りを嚴重にすることゝなれり

一資本金　壹億圓
一拂込濟資本金　六千萬圓
一法定準備並ニ別段積立金　貳千七百萬圓

上海福州路三號

株式會社　三井銀行

電話　營業所　支店長　同　買辦

本店　東京

支店　東京、橫濱、名古屋、京都、大阪、神戸、門司、若松、長崎、小樽、東京深川、東京箱崎、大阪西、大阪中島、大阪川口、京都、下關、廣島、名古屋、

資本金　七千萬圓
諸積立金　一千八百萬圓（內佛貨換算四千萬圓）

本店　大坂

支店　東京、橫濱、名古屋、京都、大阪、神戸、兵庫、尾道、新居濱、奉、廣島、柳井、下關、門司、若松、博多、小倉、久留米、布哇、桑港、孟買、漢口、シアトル、紐育、倫敦、

株式會社　住友銀行

上海九江路五號

電話　（支配人約）（營業用）（同上）（買辦用）（夜間用）

上海報界の過去及現在（二八）

□和平會議正式に開かる

▽更らに緊張せず又更らに商況にも影響せずと解せられた所謂南北和平會議は兎も角二月二十日午前から上海前獨逸倶樂部に於て南北代表參集して正式に開かれ一同國旗に向つて三鞠躬の禮を行ひ、唐朱兩總代表の宣言があり、各委員證書審査があり、後ち紀念撮映を爲し散會したが、唐は大勢は國際聯盟の實現を見んとし、外侮の憂は減じ、外交は開放主義に趨くだろう、我西南も誠意を以て此開放主義を取り、友邦の資財を籍りて實業を發達しめねばならぬ爲め陝西問題は二ケ月になるも、マダ解決せない、而かも三原地方は失守せりと傳へらる、停戰命令も空文と同樣である、速かに之から解決を圖らねばならぬと說き、最後に國內の爭は外力（日本）を恃むからずである、換言せば外力が我內亂を助力せしめて居る、武人は外力を借るのでなければ、金錢も軍器も共に得られない、南北雙方の代表は此に思を致して誠意以て討論せねばならぬと云つた、朱啓鈐は支那は今日の場合內爭の時でなく、大同主義を以て世界に貢獻せねばならぬ時である、唐代表の外交意見は余の極めて賛成する所である、民國の紛糾は複雜なる原因があるけれども、歷史に本づくものが多いと云ひ、國際の地位を高むべく、巴里會議に赴ける、我全權は正當の言論を吐きつゝあるが、我國民は此際一致して我全權の爲め後楯とならなければならぬ、軍事方面に至りては世界の潮流に順ひ、國民の希望に副ひ、財政の情況に覺み兵を裁汰すべく之が討議を爲さなければならぬ、停戰地に於て一時衝突あるも、地域遼闊なる爲めに招くものであつて、第一革命の時も、コンナことは能くあつたことである、速かに法を設けて民國を救ふことにせねばならぬと云つた

▽正式會議終りて、直ちに朱啓鈐は上海に於ける各國新聞記者及通信員を前獨華銀行內に招待し、南北和平會議を開くに至つた主旨を述べ、唐紹儀は西各省に對し和平會議開會せらゝた、報告を通電した、之と同時に三原地方が十九日陷落せりとの報があつたとて、在上海舊國會議員は大に憤慨したのであつた、唐が正式會議の初一日に陝西問題を持ち出したのも、之に起因したものである、然るに二十一日實際の和平會議の開から唐は北方が停戰せない其理由を聞き度いと詰問し、同時に督軍陳樹藩を免職し北軍を陝西より撤回せよと要求した、之に對し朱啓鈐は停戰令公布後若し戰事があつたら、自ら責任を負ふが、唐の主張する所は「恐らく紛糾を惹起する、同意し得ない所である、纔で陝西の境界方法を議したけれども、要領を得ない、此事は陝西劃界委員として出張すべき張瑞璣の意見を聞きて更らに解決法を定むべしと云ふに一決して、其日は分れたのである

▽二十二日の會合には唐は（一）日支軍事協定を取消すべしと說き（二）日本參謀本部より松井大佐に與へた訓令を讀み、更らに軍事協定の明示を中央に請ふべしと求めた朱は各自別に發電請求すべしと承諾したが、唐は借欵の差止めを電請せんことを提議し、朱も亦之に賛成し、二十四日の會合には湖南の善後問題審査委員附托とし、公債を議した又南方の參戰軍即ち國防軍中止の要求は、錢能訓より中止する能はずとの返電があり、大議論となつたが、結局南北雙方より支拂停止を電請することなつた、二十五日の會合は談話會、二十六日は陝西問題と湖南張敬堯の撤退論に及び、二十七日の會合は談話會、二十八日の會合に於て、朱啓鈐は日支軍事協定の寫を示し、後に於て討議することゝし、陝西問題に移り唐は四十八時間即ち三月二日午前九時迄に滿足なる回答がなければ、南方代表は獨立行動を取り、余一個の名義を以て外ゞ團に向つて和議中止の顚末を通告べしと云つた、之ッで南北和平會議は、一頓挫を來す樣になつた、即ち二十八日朱は唐に最後通牒を發すると共に、政府に對し自己の總代を辭表を電請するに至つた

▽朱の此舉は十三日停戰令を下した以後の事は責任を負ふと云つた先方、其實が擧がらないから唐の最後通牒に對し、何等の返電がないからして、唐は斷然最後通牒通り、三月二日附を以て國內に對し、和議中止の通告を發し、且つ外交團に向つて宣言を發するに至つたのである、處が北方では朱に對し、陝西問題は交通阻害され預定通りに電報着せず誤解を招くも、陳樹藩の更迭は、トテも應ぜられない、若し今後再び戰起ればその責任を負ふ旨打電した、此時に硬派民黨章炳麟は二日附を以て西南獨立を主張し、唐紹儀を痛罵するの通電を發し、忌憚なく南北和平會議の內幕を素破拔いた、即ち其文は陽々數千言に亘つたが、大要は「今回の南北和平會議は私人同志の會議にして、南北の會議にあらず、即ち北方非法派と南方護法派の會議にあらずして、段派の牽制を除去せんと策しつゝある徐世昌の野心を充たさんが爲めの目的と、今後一身の尊富を享けんとせる唐紹儀の野心を充たさるんが爲めの目的の會議に過ぎず、二月二十八日を以て頓挫せるは固より當然なり」と前提し唐と徐世昌は氣脈あり、唐の乾分盧信鈐の妹婿である、金星保險會社の發展を圖らん爲めの和平會議に過ぎないと云つた

▽和平會議開催と前後して留意べき問題は、支那鐵道國際管理問題であつた、這は中美通信社によりて殊に報道せられたが、米國の鐵道利權が他國に比し、淺き爲め自家發展の爲め策せらゝものとせられた、然るに此事は支那鐵道統一外債案として英米兩國政府の建議を錢能訓が容れ、徐世昌を動かし巴里會議に提出する迄に運んだが、巴里に在る交通部委員から支那鐵道統一外債案は、英米が支那鐵道を國際平均投資の下に置かんとするもので、支那鐵道を戰利品と心得て居るものだとて極力反對し來る政府部內にも激烈なる反對者出で、錢總理は已むなく二月十五日附を以て巴里に見合せ電報するに在る一部米人、米留學出身者、研究系等親米派及ベーカー米人顧問の劃策だと傳へられ、曹汝霖は此問題に對する七大理由を發表した乃で此案は其まゝとなつて了まつたが、或は英米人とのかつて利益を見せ、巴里會議席上に於ける支那政府に有利なる解決を求むる魂膽から米人を驅つたのではなからうかと猜せられたのである

▽要するに日支軍事協定取消、參戰借欵停止が、和平會議に於ける南方代表に提議されると同時に二月二十二日に至り、我帝國政府は日支密約全文を發表し、上海駐在武官松井大佐も、北京駐在武官齊藤中將も、之と前後して召喚され、少かず日本の對支外交の變化を示したものであつた

典籍と自己と現代（六六）

□獲罪於天、無所禱

▼王孫賈問ふて曰く其奧に媚びんよりは、竈に媚びよとは何んぞや、子曰く然らず、罪を天に獲ねば禱る所なし、王孫賈は衛の大夫である、彼が問ふた『其奧に媚びんより』云々は、當時の諺であつて、位尊くして權なきものに從はんよりは、名卑くしても、實あるものに就いた方が好いと云ふ意である、賈は衛の權臣であつた爲め此諺で以て孔子が賈に附かんことを望むだのであるが、之に對し孔子は罪を天に獲ながら、禱り て何の益があると答へ只だ天に從ふべきのみ、誰れに附き誰を捨てんやとの意味を現はしたのが、即ち罪を天に獲禱る所なしの語ある所以である

▼朱子は此「天」に就き、天は即ち理である、其尊は對なし、理に逆へば罪を天に獲るのである、ドウして奧竈に媚びて禱りて罪を免れるものであるか、要は理に順ふべしである、只に竈に媚ふべきものでなく、奧にも媚びてはならぬとの意味であると註して居る、基督が『地上に釋放さるゝものは、天上に釋放さる、地上に綱綁さるゝものは天上に綱綁さる』と云つた言も、孔子のソレと能く似たもので、寧ろ異曲同工だと解しても差支はない、孔子の「天」は人格の實在者であるから、人格を完全にせなければ禱つても甲斐なである、即ち人格を完全にせないでは、トテも天上で釋放さるゝ樣でないと云ふことも、歸する所人格を完備にせねば駄目だとの意味である、地上で綱綁さるゝ樣で、何を云つてもソは皆空言であるとの謂ひである

▼然るに支那民族は、何んと云つても此天で教へられた民族であり、而かも事實は此天に背いて、禍福とか云つて現實に因はれて居るのは誠に度し難しと嘆せねばならないけれども、理に順はないこと即ち天に背くことの宜しくないことはチャンと知つて居ると認めてやらねばならぬ、即ち此道理を悟つて居る點は否むことが出來ない、只た過ぎたるは猶ほ及ばざるに如かずで、悟り過ぎて居るから好くないと詰する外はない、丁度德川末の御家人風の瓊雲に似て居る、さりとて上に立つ者が道理に背いたことをすれば、不可思議な一種の抵抗力を示すものである、袁世凱の東夫馬丁から迄嫌はれた消極的民心は、五國の警告で心活を與へられて驚れしめた民心となり、遂に袁をして斃れしめた原動力となつたのである、段祺瑞が失敗したのも最近の孫文が總統に就任して一般の民心を失し、全く孤立の姿になつて居るのも、亦天理の自然に順はないで、無理をすることを好まない其消極的民心よりする一種の抵抗の結果だと認めねばならぬ

▼此に於て支那國民に對する要領は、無理をせない所謂民彝を體して人格の實在者として、之を實際に行ふべき所謂王道を以て立つに在る、王道民彝に叶へば其强く出るも其弱く出るも、二門なく、共に無理にならないで、自然衆心は最高人格者に會歸する、地理歷史人種文化等凡てに於て共通せる我日本の對支態度は、此に思ひを致すことを忘れてはなぬらぬ、

營業種目

▣型銅　▣銅及眞鍮板、管、棒、線
▣鋼鐵管、釘、鋲及鐵線
▣各種被覆絕緣電線、電纜
▣鑄鋼品、鍛鋼品並諸機械
▣鑛山用各種機械器具
▣人造肥料並硫酸、硝酸
▣石炭

住友洋行
上海九江路五號
電話　支配人室　中四六一九
營業　庶務係　中四六二一
夜間業用室　中三五三六
▣扶桑海上保險株式會社代理店

□質精撰
●醫療用藥品●
●醫療用器械●
●醫療用繃帶材料●
●理化學用藥品●
●工業用藥品●
●玻璃藥瓶各種●
●美容化粧品各種●
●諸大家賣藥各種●
●諸大醫御處方調劑處
廉價販賣
濟生堂藥房
上海文路西華路憲角路
電話二六一五番北

支那人の日米問題觀（二）

此の二點より觀るに、日本は石炭鐵の產額少く消耗量は反て多し、その困難や知るべきなり、故に努めて盡く我國の所有を攫取せんとするなり、日米兩國をして戰はしめば其國內の軍需品は尨大となるべく、斯の如くんば日本の我國を侵蝕するも如何なるべきか、余は知らざる也食糧の方面につきても米國は地廣く物資の多きこと我國と伯仲するが故に其關係も日本の如く深からず日本は有名なる米食人種にして、人口多きも產物少きを以て必ず外國に仰がざる可らず、殊に我國との關係最も深し、大正七年の統計によれば、外米の輸入は九百六十五萬七千九百石、此代金日本貨八千八百八十六萬八千圓に當る、而して人口の增加は著しく、當局者は常に之を憂とせり、故に我國と經濟提携を結ばんとの說すらあり、最近聞く所に據れば日本の米穀は缺乏しをるも政府は戰爭の爲め貯米をなさんとし我國の好商と軍人と結ひ、米の密輸出を企て、準備をなしつあり、我國にては米價騰貴し、貧民は苦みつゝあり、若し他日米開戰し日本の壯丁は戰爭に從へば、要する所の食料は皆之を我國より取らんとす、然れは我國民の受る所の苦痛は水火の如く益甚しからんとす

（二）軍事上の關係

我國の版圖遼闊なれば、軍事上の防禦も極めて重要なり、他日日米若し開戰せば殃は必ず我國に及ぶべく而して南方はその害を受くる事最も大なるべし、何となれば米國は比島、布哇グワムの三處を太平洋の根據地となし日本は台灣占領後銳意南進を策し歐洲戰爭の機に乘じ獨領南洋諸島を攫取しカロリン、ビスマーク、ラドロン等の諸島の如き悉くその手に收め、又サモア、マリアナの兩羣島も全國の共有すること なれば一旦開戰せば此等の島嶼は攻防の巷となるは言ふまでもなし、されど我國とは甚大の關係なきも、支那海方面は比島と台灣の攻防區域となり我國に影響する事至大なり、日本の比島に志を蓄ふるや久し、唯その機會かりしのみ、若し其時に遭へば豈に之を逸せんや、故に彼は必ず大軍を擧げて比島を攻むべく、米國は亦必ず其艦隊を出して台灣を攻めん、台灣は日本の印度なり、日本は糖、米、茶、石炭の供給を此の地に仰ぐ幾何なるを知らざるなり、是れ俗に所謂將を射んとして先づ馬を射るものと云ふべし、ナポレオンの英國に當るや、先づ其本國を攻めずして印度埃及を攻め獨帝ウイルヘルムの英を傾けんとするや、又先づ印度を取らんとして土耳古、波斯を誘致して其東向の計を達せんとせる如き皆是れなり、日本亦若し台灣を失へば國務殘缺して久存すること能はず、故に他日激戰の地は南海の中にあるべく澎湖島は地勢上海中に孤立するの恐れあるにより、日本は必ず我が厦門を占領して軍事上の犄角と致さんとすること斷言するを憚らず、然らば即ち爾後軍事上の苦痛を受くること幾何なるを知らざる也

現在何れの國にありても强固の實力あるに非れば外界の壓迫を防ぐ事能はず日米問題は我國の生死問題にして、我國の存否は全く其抵抗力如何に係る、往時英獨兩國が近東の商權爭奪の爲めに互に土耳古に於て競爭し、土政府は英獨の壓制を受けて發展すること能はず遂に歐洲戰爭終りを告ぐるに及びて滅亡せるが今日米亦我を以て土耳古と爲さんとするなり、我國若し此時機に於て奮發し、實業に於ては國貨の增加を圖り、教育に於ては、知識の向上普及を謀り、十年蓄積し、十年教育せば、他日日米戰爭の時は即ち我が國の弱を變じて强と爲すの秋にして單に外界の衝動を抵禦するのみならず、又以て世界を左右するの能力を有するに至らん、而し是れは國人が自ら好みて之を爲すにあるのみ

（完）

淸代思想界の變遷（十四）

梁啓超

所謂正其誼不謀其利、明其道不計其功

にして換言すれば書獻子ありて後始めて學問あるなり晚淸の新學家にして盛新諸儒の如く其して爲經學而治經學の精神ある者渉として得べからず其成就する所なきや亦怪しむに足らざるなり故に光宣の交唯だ之を淸學の衰落期と謂ひ得べきも新思想の啓蒙期を以て之を名づくるは未だ輕々に許す能はず

晚淸の思想界に一支流あり佛學是れなり前淸の佛學衰落を極め高僧既に其人乏しくありと雖亦思想界に與る所なし其居士中に於ては淸初王夫之頗る相宗を治めたるも其專好する所に非らず乾隆に至り彭紹升羅有高あり其志信仰に篤く紹升嘗て戴震を往來し其後龔自珍佛學に紹升に受け（定菴文集に知歸子の讚あり知歸子は即ち紹升なり）晚年菩薩の戒を受け魏源亦佛學を嗜みて著述あり魏襲は今文學家の推奬する人物なるが故に今文學は多く佛學に兼治せり石埭の楊文會少にして嘗て曾國藩の幕中に在り復た會紀澤に隨ひて英國に使し夙內に典に心を究め學問博くして道行亦高く晚年金陵に塾居して專ら刻經弘法を以て事とし宣統三年武漢革命の前日圓寂せり文會法相華嚴に通ずること深く淨土を以て學子に敎へ學者の敬仰頗る篤く譚嗣同文會に從ふこと一年具得たる所に基きて仁學を著し常に梁啓超を鞭策し其著論往々にして佛敎を推挹より康有爲亦好んで宗敎を談じ往々已意を以て佛說を推退せり章炳麟亦法相を好みて著述あり故に晚淸の新學家なる者は幾んど皆佛學に關係なきはなく其眞の信仰者は槪ね文會に歸依せり

經典流の通既に廣く之が求習比較的容易なる爲め其研究者日に多く亦分て兩派あり哲學的研究及宗敎的信任是れなり西洋哲學既に輸入さるゝや印度哲學に對して亦連帶的興味を誘致するは固より自然にして吾國人歷史上斯系の哲學因緣極めて深きが故に之か研究亦自ら比較的易く且つ亦全世界の文化に對し應しく此天職を負ふべく之に緣ある者頗る之を欲すべき筈なるも其人極めて稀にして其事業に稱すべきものなし社會既に喪亂疊出し厭世の思想自ら期せずして起り此惡濁世界に對して種々なる煩悶悲衰を感じ因て以て一安心立命の處を求めんとし稍根器ある者は多く遁逃して佛に入れり雖然佛敎は本と厭世的のものに非らず亦消極的の

▲資本金　壹千萬圓
▲本　店　北京
▲上海支店　江西路南京路北入

爲替取組先
東京、大阪、横濱、神戸、門司、長崎、京城、奉天、大連、北京、天津、青島、漢口、九江、福州、廈門、香港、新嘉坡、孟買、倫敦、紐育、其他支那各地

中華滙業銀行
電話（一般營業部）中一九四六　支配人席　中一九四一
爲替、預金、貸付其他一般銀行業務精々勉强可仕候付御引立の程奉願上候

合名社會
鈴木商店
上海支店
九江路三號
電話　中二二二一　中二二二二　三三三三　六七八番
本店　神戸市東川崎町一丁目一番地

印刷、製本及紙器製造
（オフセット）……カレンダー・ポスター・株券・小切手
（石版）……レツテル・帶紙・商品券・カタログ
（活版）……諸會社用書類・レター・ペーパー・名刺
（紙器）……煙草函・各種サツク・ショーカード
（ジンク版）（凸版）（凹版）（鋼版彫刻）
Shanghai Press, Ltd.
上海印刷株式會社
赫司克而路一二三九六號
電話北三十一五〇二

機械、材料、文房具販賣
TH
堀井謄寫堂支店
上海河南路七七、七八
電話（中央）叁叁貳〇
營業種目
堀井謄寫版、文具、印刷機械
印刷インキ、自轉車、護謨及製品、車輛、金庫、紙、藥品
雜穀、肥料、鑛石
本店　東京
支店　漢口、天津、京城

ものに非らず眞に佛を學びて眞に能く積極的精神に出でたる者譚嗣同の外殆んど其他を睹易からず

佛學の治既に一種の時代流行となれるを以て眞の依附者出でざる可らざる筈なるに往々にして夙昔愚惑或は方に奔競中に在る者治佛に託し今日靜恬以て經義を聽き明日は忽ち贖貨人を陷る淨宗も教は兼ねて他力樂超を談じ素と帶業者生の一義稔惡のあり輩徒に斷章取義作惡日に勇而も阿彌阿佛の一聲に恃して以て前罪消ゆべしとなし幾んど羅馬舊教極敝の時懺罪と犯罪とが並行して悖らざりしに似たり又支那人迷信の毒素と甚だ深く佛教流行するに及びて種々邪魔外道惑世誣民の術亦隨復活し箕壇到る處に設けられて圖籙累牘佛弟子亦未だ其佛法の詆訶する所なるを知らず却て推波助瀾甚しきに至りては二十年前の新學の鉅子を以てして猶津々然として之を談ずるを樂める者あり之にして變せずんば將に思想界の一大障礙となり吾輩の如き夙に佛法を尊ふ者と雖亦口を緘して復た之を道らざるに至らん蔣方震曰く

歐洲近世史之曙光、發自兩丈潮流其一希臘思想復活、則文藝復興也其二原始基督教復活、則宗教改革也、我國今後之新機運、亦當從兩途開拓、一爲情感新的方面、則新文學新美術也、一爲理情的方面、則新佛教也

（歐洲文藝復興時代史自序）

吾輩深く此言に首背す支那の佛教あるや深く之を惡む者と雖終に遏絕する能はず其必らず社會思想の重要成分となるべきは疑ふべきなし其社會を益するか社會を害するかは新佛教徒の能く出現するや否やに依りて定らんのみ更に附論すべきものは基督教なり基督教は素と吾國民性と近親ならざる爲め其影響頗る淺く其最初傳來せるは舊教の耶蘇會一派にして明の士大夫徐光啓等時之を奉仰せるも清の漸く衰ふるに及び教案屢出して益々懷厭を招き新教の始めて來れる者頗る其影響を受けたり其後國人漸く相安んじ其教力の歐洲に於て目に殺減し往くと同時に各派教會の對支事業日に盛にして最も教育に意を濺げり雖然皆些末精神に乏しく新思想鼓吹の運動に對して未だ亳も參與する所なく却て間接に阻碍あり基督教の清日學術に於ける益なく又害なきものと謂ふべく今後大に改むる所なくんば或は淘汰に歸せんのみ

清代の學術研究關かれて科學的精神を含めるは吾輩の既に屢々言へる所、然らば何故に此時代に自然科學の發達を觀ざるしか、是れ亦其故あり、文化の進展する所以蓋し後人時代智識の遺產を承襲して以て之を繼長增補するに由る、凡そ承けて此遺產を有する國民は必らず先づ其遺產に一整理を加へ、然る後更に其向上を圖るは是れ一定の進路にして歐洲文藝復興の價値即ち茲に存す、故に此時や、科學未だ發達せず、僅に其機を導きて以て時來を待つに過きず、清代の學者は古來三千年の遺產に對し銳意科學的方法を以て之に大整理を加へ、既に能く其一部分を整理し得たり、凡そ一國民の一時期內に於て能く其精力を集中して以て一事業を完成するは固より必らず斯くの如くにして然る後事業は確實に成就し得べきなり、清人の此一點に精力を集中して吾文化に貢獻せる所既に尠からず、更に其他を以て責むべきに非らず、且つ其趨勢亦確に切近的方面に進行せり例へば古音の如き、初は唯だ之を詩經易經の韵に求め、進みて歷代の變遷を考へ、更に進んで古今各地の音を考素し、遂に人類發音官能構造の研究に進みたり、是れ傳古的考證より自然科學の慮誤を導ける明驗なり、故に清儒の遵守せる徑途は實に科學發達の先驅にして其末だ能く一蹴以て達する能はざるもの蓋し時代の然らしむる所

（未完）

支那時事日誌

五月六日　（金）

▼王古元は五日夜入京、曹は六日朝入京、張は同日午後入京

▼張弧は曹汝霖を後盾として財政總長となるべしと報ぜり

▼內閣改造問題につき新交通は舊交通系を排するも運動あり、交通部總長業恭綽の後を繼がんが爲めなりと

▼五七紀念會に對し天津學生は一日斷食すべし

▼孫文は五日附を以て徐世昌に退位勸告

▼孫文の總統就任宣言及對外宣言は本日發表

▼王古元は張勳を征業總司令とせんとするも張作霖は三省巡閱使を主張して止まずと云ふ

▼日本借欵說傳はるや江蘇教育會等各團體は北京政府に反對電報を發せり

▼上海海軍々費の調達は力を盡して工面する旨政府より入電ありたり

▼本日第二次地方行政會議開かる

▼駐支米國公使はシュールマン博士に決定

五月七日　（土）

▼張志潭は交通部顧問任を望ます

▼東亞興業の小野氏の入京は支那新聞の問題となる

▼政府は四公使の召喚催促電を發せり

▼廣西及江西廣東の侵入に關し達示をふす、清代の學者は古來三千年の遺產に對し銳意科學的方法を以て之に大整理を加へ、既に能く其一部分を整理し得たり、凡そ一國民の一時期內に於て能く其精力を集中して以て一事業を完成するは固より必らず斯くの如くにして然る後事業は確實に成就し得べきなり、清人の此一點に精力を集中して吾文化に貢獻せる所既に尠からず、更に其他を以て責むべきに非らず、且つ其趨勢亦確に切近的方面に進行せり例へば古音の如き、初は唯だ之を詩經易經の韵に求め、進みて歷代の變遷を考へ、更に進んで古今各地の音を考素し、遂に人類發音官能構造の研究に進みたり、是れ傳古的考證より自然科學の慮誤を導ける明驗なり、故に清儒の遵守せる徑途は實に科學發達の先驅にして其末だ能く一蹴以て達する能はざるもの蓋し時代の然らしむる所

▼外交部新官制本日發布

▼本日晉張王總統に謁す

▼米支無線電問題の爲め小幡公使五日回答を催促せり

五月八日　（日）

▼小幡公使は本日歸國の途に就く

▼學生聯合會は小幡公使に宛て日本借欵說に反對書面を送れり

▼支那町內會は本日國恥紀念に就き打合す

▼勳巡閱使は新反對なれば實現難しと

▼王正廷は〜ヶ常設長判所支那公斷員に任命

▼傅良佐は釋放さるべし

▼岑春煊は孫文の總統就任に姑息の手段を取るべからず、平和愛惜の軍官に打電し蜂起せしむべしと打電せり

▼本日の輿論は國恥紀念に就き著論ありたれども、曹汝霖の出廬を忌む爲めに云へるものあり

五月九日　（月）

▼公易所條例の實行につき訓令あり

▼王古元、盧永祥吳佩孚は一致して中央を援助に決せりと

▼張弧は入閣借欵せざる旨聲明せり

▼本日の閣議獨支條約を大略決定せり

▼范源濂は挽留するに決せり

▼日本留學生に官費生の期限は明年を以て期限終る爲めに日本朝野は大に考慮中なり

▼內閣改造に就き新去就を以て爭ふと云はれ未定なり

▼造船場借欵五百萬元略成立、中二百萬は漁業銀行二百萬は廣東海軍買收費、餘は海軍部經費とすと

▼孫文は九日正式政府成立し舊軍政府取消を通告したり

▼香港總督の北上は廣東全省礦山採掘權、威海衛と廣東灣の交換等に在りと

▼支那は七日の國防會議にて航空の關稅、郵便輸送、無線電に關するものを聲明せり

五月十一日　（水）

▼靳は內閣問題の意を洩せりと

▼吳佩孚は曹錕に對し內閣問題に關與せず、歸來を電請し又二〇師及二三師を京津方面に移しつゝありと

▼新交通系は中日實業公司の李士偉財政總長に擁立しつゝありと

▼列國は交通特別會計問題につき干涉すべしと

▼小野氏の來支に就き列國も亦財政活理せんと

▼小野氏は十日曹汝霖と借欵を談合せりと

▼王古元張作霖は勳一位を授かる

▼王正廷の入京は山東及西藏問題の討議に與かる爲めなりと

▼上海工部局支那顧問五名決定につき歡迎會

▼獨支協約草案發表さる

▼地方行政會議は昨日縣自治細則を議せり

▼兩廣の形勢變化なし

▼各公使は第三革命後の賠償を申込めり

▼小野氏借欵返濟催促なりと報ぜり

▼內閣更迭問題依然解決せず

▼新は岑に對し討議の意見を問ふ旨打電せり

▼支那の日英同盟に對する抗議書は昨日發表さる

▼和約研究會開かる

大阪毎日新聞記者　法學士　平川清風　著

支那共和史

全一冊　菊版總定價　銀五弗　クーロス　九百頁　金七圓五十錢

第一版　九月廿五日發行
第二版　十一月一日發行
第三版　十二月一日發行

第一編　革命の醞釀
第二編　共和政府肇立
第三編　袁武斷政治
第四編　政府議會衝突
第五編　南北對峙
第六編　段沒落迄

郵料送費
日本、漢口、京津、香港　鮮、滿、樺　三十錢
天津、大連、旅順　二十七錢
其他　五十錢

春申社發行

中華皮革廠

營業科目
各種皮革製造
各種紡織用具
各種皮革製品
各種皮革其他製造販賣

事務所、工場　上海曹家渡　電話西一〇〇〇番

販賣所　上海廣東路十九號　電話中二三七六番

火災保險　明治＝東京＝日本　東同＝横濱＝千代田　東京海上＝大阪海上

海上保險　東京海上火災保險會社　横濱火災保險會社　大正海上火災保險會社

會社保險　神戶海上火災保險會社

生命保險　明治生命保險會社

海難救助作業　東京サルージ株式會社

上海代理店　三井洋行（電話中四九九〇番）

申込所　山口商店　電話（北四五九夜間銀用北二三九七）

損害精算代理店

日本麥酒株式會社釀造　代理店　海上　三井洋行　電話中四九九〇

サアヒビルー

上海文路第一號　山口商店（電話北五四四）

雜報

●工場制定と紡績聯合會

昨年十月米國に於て開かれたる國際勞働會議に北京政府の派遣したる代表者は加入を申込み同會の賛成を得たるを以て支那も工場法を編訂し勞働者保護主義を施行することに決したるが本年も近く國際勞働大會開めるべきに就き政府は信用を保つ爲め其の以前に勞働法を編訂して實行すべき模様あり右に就き上海の華商紗廠（紡績）聯合會は最近北京政府に對し各國は工場發達し勞働者の生活程度は均しく極點に至れるを以て勞働者と資本家の衝突を緩和する爲め法規を明定し擁護せざるべからざるが支那は工業幼稚にして勞働者は其の職業無きに苦しむ有様なれば遽かに實業先進國の成規に倣て編訂せば必らず直接實業の生機を權殘し間接に勞働者の生活を妨碍すべきを以て宜しく目前我國の情勢に就き資本家と勞働者とに對し双方兼願し以て無形に網護するを期すべし而して歐米各國は法典を纂修するに當り大抵皆な關係者を參與せしか隨時意見を陳述せしめて國計と民生とに背繆無きことを期し居れるが政府が工場法を纂修するに就ても博く辭言を採り以て杆招を免かるべしとの意見書を北京内務部に提出したるが内務部は此事は實業の前途に關係甚だ大なるを以て屢次農商部と協議し居れるが元來農商部の主政に屬するを以て制定參與の事は農商部に於て決定すべしと回答し來れり

●學生の借款反對

▲小幡公使に致書▼

學生聯合會は北京小幡公使に宛左の如き書面を發したり

頻年以來貴國當局は政治侵畧と經濟侵略の野心を抱き我國民政官僚武人を利用して傀儡とし種々の條約を私訂し種々の借欵を濫供し我國國民が已むを得ずして排貨のあるは貴國に早く自ら覺悟し某の最近の政策を矯正して然して後中日兩國々民が眞正の携手互助の機會あるを希望せざるにあらざるは無し然るに聞く所によれば貴國は又北京政府に吉會鐵路八百萬元を給し直接我國の利權を攫取し間接我が國の禍亂を延長すと約し此の擧が實現せば吾人は必ず北京政府を厭惡するの心を以て貴國を厭惡すべし未だ合法の手續を經ざる借欵契約は固より廢止に等しく而して東亞前途の危險も亦既に豫伏す尚貴公使に貴國當局及び資本家に轉達し北京政府の一切磋商中の借欵に對して速に成議を取消し進行を停止せしめられんことを望む特に此に忠告す

命令

▼五月五日令
任潼關監督　余詒
任陝西煙事務局長　謝宗華
▼五月八日令
任吉林全省警務處長　鍾毓
授陸軍少將　夏兆麟
▼五月九日令
任全國所得稅處總辦　孔祥榕
▼五月十日令
給二等大綬嘉禾章　馬其剛
▼五月十一日令
授勳一位　馬福祥
授勳二位　張作霖、王占元、劉冠雄
授勳三位　張景惠、孟恩遠、王懷慶
授勳四位　顏惠慶等
授勳五位　王廷斌、濮復、秦華、張學良等

●九日の國恥紀念日

上海工商界は日本の二十一條要求の恥辱に對し深く頭腦に印し五月九日の紀念日は些かも怠らず各團一體の表示左の如し

▲各路商界總聯合會同會は白地に紅字にて「五月九日毋忘國恥」の九字を借りて傳單數萬枚を各商店に分配して貼らしむ

▲湖北九江山東愛多亞路等は聯合會此の町々の商店は各路商界總聯合會よりの一日休業して半旗を掲ぐべしとの通告に從ふ

▲山東聯合會同會は特に九日午後一時國恥紀念大會を開く各路職員會員は列席すべしと通告を發せり

▲救國十人團聯合會五月九日は我國極大の國恥紀念日なれば本會は國を救ひ恥を雲くを宗旨とす故に九日晩八時特に五日國恥紀念大會を開く本會同志は出席されたしとの通告を發せり

▲工商友誼會同會は自地に朱字にて「國恥紀念休業一天」の八字を書る通告多數を各廠號商店に送り又た各遊戲場及び戲館に此日一日一律に休業せんことを求めたり

▲淞滬警察廳長は松滬護軍使より五月九日の國恥紀念日に各團體及び工商各界は紀念會を開き演說を行ふ等のことあるやも計られざるが斷じて斯ることをなさしむべからず集會等のことあらば直ちに解散せしむべしとの訓令を受けたり

●日本借欵說に反對

江蘇省教育會、上海縣教育會、寰球中國學生中華職業教育社、華僑聯合會、基督教救國會、上海救火聯合の各團體は北京政府に左の如き電報を發せり

日本各新聞の報する所によれば政府は日本より三千萬圓を借欵せんとすとのことにて輿論憤慨し安福部と一轍に出づるものなりと謂へり此れを飲みて渦を止むるものにて國民の公意に違反するのみならず友邦の同情を失ふものなり内は統一の大障碍となり山東問題の救援を絶つものにて實に安危存亡の大計に關す立ろに進行を停止し專ら裁兵裁餉に着手し以て人口を維を救はれたし云々

●證券物品交易所許可

上海證券物品交易所は久しき以前より北京農商部に營業執照の下附を請願し居たるより物品交易所法及び施行細則等制定に取掛り居たるより市面は恐慌を起したるに就き政商各機關屢次會議の結果布告を發して各商店に銅貨一律通用を勸告したるより風潮漸く止みなるが三電車中租界外支那電車は已に從前の如く各種銅貨を收用し佛租界電車も數日亦た稍通融するに至りたるも公共租界電車が今に至るも頑固なる態度を持し居るより佛租界電車は上營業執照を下附すべし又同交易か前に届け出でたる章程細則及び株主名簿等は以前のものなれば更に最近の株主名簿營業報告書章程細則を届け出づべしと

●ルーブル紙幣額數調査

露國のルーブル紙幣は今や無刑に消滅したるが支那人にてルーブル紙幣を有せるものの少なからず損失額も多大なるより法を設けて調査し將來賠償要求の準備とせざるべからずとて北京財政部は各處總商會に支那人所有のルーブル紙幣額數を詳細に調査報告すべしと通令したり

●棉業銀行組織進行

上海支那人棉花棉糸兩業者の發起せる棉業銀行は已に組織法に就き事務所を天津路怡安里内に設け錢業公會々長秦潤卿を辦事董事に正社長に馮咏琴を副社長に王祖尊を擧ぐることに決せり

●王省長と奬券

上海の支那人有志家等は王江蘇省長に對し奬券は彩票の變相にして江蘇省は財政窮乏せりと雖も未だ奬券に藉りて籌欵せず獨り各省は慈善公益の名で藉りて上海に奬券を發行して忌憚無し且つ佛租界に彩票店禁止後彩票店は續々租界外に移りて開業せるが實に上は國體を碍し下は民生を害するものなれば禁止されたしと請願せるが王省長は各省の奬券發行は夫々災捕の爲め政府の許可を受けたるものにてかち得ざるものなれば今後を取締るの必要あり吳淞警察廳に各奬券の名目發行期奬券店數等を調査すべしと訓令し來れり

●銅貨維持の請求

上海縣知事は三電車公司が輕質銅貨を受取らざるより市面に恐慌を起したるに就き政商各機關屢次會議の結果布告を發して各商店に銅貨一律通用を勸告したるより風潮漸く止みなるが三電車中租界外支那電車は已に從前の如く各種銅貨を收用し佛租界電車も數日亦た稍通融するに至りたるも公共租界電車が今に至るも頑固なる態度を持し居るより佛租界電

營業種目
葉煙草、洋紙、雜貨、其他一般輸出入業埃及メルコニアン煙草會社代理店
上海黃浦路三十一號
株式會社 伊藤商行
電話 北一五九〇 北二三〇九
支店及ビ出張所
漢口、九江、廣東、香港、臺北、京城、大阪、東京、

○資本金　貳千萬圓
營業目課
各種事業ノ調査設計及引受各種事業ニ對スル直接間接投資
東亞興業株式會社
上海出張所
上海九江路第五號
電話中一九九五番
本社　東京市麴町區八重洲一丁目一番地

諸藥品、織機
絹綿布、雜貨
輸出入貿易
上海河南路八號
株式會社 東亞公司
電話中央 一七三四 四一二六
本店　東京
支店　大阪

資本金　五千萬圓
營業科目　棉花、綿絲、品綿製生絲
本社　大坂北區中之島貳丁目十番地
日本棉花株式會社
上海支店
支店及出張所
大坂船場、名古屋、東京、横濱、神戸、大連、營口、鐵嶺、開原、長春、哈爾濱、上海、漢口、津天青島、香港、孟買、甲谷陀、蘭貢カラチ、紐育、倫敦、シャトル、ブニノスアイレス、佛國アーブル

車も過日忽ち取用せざるに至りたり沈知事は此の情態を見て過日更に交涉員に對し領事一首席領事及び英佛米總領事等に各電車公司に一律に銅貨を通用せしむるやう勸告せんことに至りたり次後交涉員は直ちに各總領事に此の旨を傳へたりゝ

●工部局支那人五顧問

△愈々就職す▽

本月十一日午後二時上海各團體は上海總商會に於て共同租界工部局支那人顧問五名の歡送會を開きたるが出席者四百余人にて宋漢章、余日章、陸光甫、謝永生、程湘珊の五顧問は前後して來會し上海各路商界總聯合會董陳則民は

吾人は市民權を爭ふに至りてより今日迄多數の日を經たるが得たる所は仍ほ最初の願望を滿つる能はず僅かに顧問を得たるを平等の選舉權被選舉權を獲得する能はず故に本日の歡送は市民權に就き滿意の歡送にあらず將來必らず吾人の望みを慰むるものあるべきを以てのみ

と演說し次で馬湘伯は支那人は米國にて努力して多大の貢献をなして米國に排斥されし上海開發の爲め奮闘して權利を有せざりしや今や利權挽回の第一歩に入れり五顧問は其の先鋒となり努力されんことを望むとの意味を演說し宋漢章は五顧問を代表して答辭を述べ其の他數名の演說より紀念撮影の上散會の後五顧問は四時二十分自動車にて工部局に赴き市參事會員九名と會見して互に挨拶を交し此に愈々就職したり

●交易所條例の公布

北京農商部は各農業廳に對し各種の交易所は經理法良好なれば有益なるも其の經營法不良なれば市面を擾亂し弊害大なり民國三年十二月證券交易所法及び關係各法令發布後各省々民は爭ふて交易所を設け或は證券等を專營し或は物品を兼營し紛々本部に出願するも確かに本業經營するものは少數にて各同業は羣起して紛爭し之を許可せば影射壟斷の嫌あり又た許可を拒絕せんとせば法令の依據すべきものなし而して各省の交易所設立は反對するものも少からず解決容易ならざるより特に草案を厘定し國務會議に提出して議決し該條例及び施行細則附屬規則を公布するに至りたり今後交易所設立を企圖するものに對しては之に依りて取扱はるべしとの訓令を寄せたり

●繭買出し保護要求

江浙皖絲繭總公所は江蘇浙江安徽三省督軍省長に對し煙台マッチ兩次の通商條約により各國商人は內地に赴きて產物を購買することを許し居價格は非常に騰貴し甚だしきは五六倍に達せるものあるより金融界にては一且市價下落せば將來必らず護謨株の風潮を踏むべしとて憂ひを未然に防ぐ爲め九日の通常會に於て協議の結果一面各錢莊に對し價格下落するとも危險を受けざる爲め株券か抵當貸出しをなさゝやう勸告し又た一面公會の名義にて北京農商部及び重要機關に對し近日交易所に株價非常に騰貴し投機家が時に乘じて空買賣を行ふは實に市上に極大の關係あり金融界に非常の危險あるを以て速かに之に處する方法を講考されたしと打電することを議決せり

新刊紹介

金陵遊記

東亞同文書院教授山田岳陽氏の著に係る、金陵遊記と云ふも鎭江、蘇州の遊記あり、名勝古蹟に就き其由る所を示し且つ歷代學者及康熙乾隆の駐蹟序及詩文を紹介し、支那を觀察するものに取りて是非一本を備へざるべからざる書にして、著者の最も意を致せし其眞意は游記中に支那文化の眞骨髓が時勢の推移と共に頹敗し世道人心の歸趨する所を失はんかを憂ふるに在り此意味に於て著者の詩文と游記中に加へたる所以の道を活かし新たにするに在るを知る、是れ普通の游記として見るべからざる點にして、讀者に紹介する又自ら其趣きを異にせざる所以なり

著者　山田謙吉
定價　貳圓
發行所　東京小石川區音羽八丁目一五　江陵義塾

●電車借欵契約締結

北京電車借欵に關し確實なる消息に依れば民國二年財政部と中佛實業銀行との間に締結の五分利借欵契約に基き最近十八ケ條の細目に渉る契約を締結し過日調印を了せり契約條文十八ケ條より成る重なる點左の如し

一、政府と民間より二百萬元づゝを支出して北京電車株式會社を組織す

二、政府側の株は中佛實業銀行と提携の五分利借款を以て之に充る事

三、工事督辨は支那人

四、工事技師長は佛蘭西人

五、理事會を組織し政府側より六名民間より六名を以て組織し政府特派の理事中に中佛實業銀行經理を加入す

六、工事に關し外人を使用する場合は佛蘭西人の撰擇に委す

七、營業所長は支那人副所長は佛蘭西人

八、會計所長に支那人一名佛蘭西人一名

九、材料購買に就ては佛蘭西優先權あり

十、民國二年の五分利借欵償還以前は本會社の政府株は賣買するを得ず

●幣制局の回答

上海總商會は北京幣制局の銅貨問題に就き請願電を發したるが幣制局は左の如く返電し來れり

▲國恥紀念と各報（五月九日）

▲新聞報　今日は國恥紀念日なり必ず恥を雪ぐべきを思ふべし、然るに今日の現象は各方面皆非なり、外交の失敗は固より恥ずべきも其恥は未だ深からず、國家の恥辱を棄てゝ人々感覺なく相互に傾軋し且つ大亂を醸せんとする國恥の恥たる乃ち眞に磨滅すべからざるのみ　▲申報　國家の恥は猶人の過の如くされば始めて可なり再び恥を蹈まざることにせざるべからず、目に恥の紀念を爲すも何の益かある、恥と云ふは榮辱の語からず、吾人は今後の恥の復た來るの兆あるや、否や今日紀念する眞意を心得ざるべからず　▲中華新報　國人は政治を度外に置き遺棄すること不可なり、五七の紀念を爲す以上本を忘れ責を逃るゝの心理を第一に除去すべく然る後重大悲壯の紀念日に眞意義あり乃ち復た紀念は又來れり然るに其來る客氣を免れず精神何くにかある、山東問題未だ了らずして蒙古問題は大なり、セミョノフ、カイゲル云ふよりは米國の任事なり過去の五九紀念よりも眼の前の蒙古問題は更に注意を要す殊に之に關與する人物に注意を要す然らば三百六十六日每日國恥紀念せざるべからざるべし　▲時事新報　形に這入りたるか如き國恥紀念には駄目なり區々責國賊すら慮し得ざるもの何ぞ敵國を論ずるの遑あらんや、如此紀念ならば紀念すればする程恥を深ふするのみ、諸君よ日米戰爭には來らんと、支那は第二の白耳義となる前途の危險は形に這入りたる紀念の能く之を防ぐべし知るべし　▲商報　五七紀念日には已に棺に入れて了はんとす今日は最後通牒の日なり第五にちなるものは表面は撤回せるも六年の時日は大沢氏云ふも可なり國人第五にちの容（省略）を重れ思ふべし

▲內閣の爲體（時報〈五一四〉）各國の內閣改造は其志を行ふ得ず政權を握り其志を行ふを得ざれば退くことはなれども、我中國は之を去らんとする者あれば辭職せず抵抗し、辭職せざる爲め驅逐するのあり、閣員は突然走歩し勞ゝ行爲なり、支那政治の淸明を求む豈得ざるべけんや

▲外人干政（神州日報〈同上〉）　外人干政は國體を辱しむるの舉あり、此風は萬長ふすべからず、交通部特別令改むると否とは權ど本國に在り外人の容喙を許さんや外人は其權利保全の爲め善政に干涉することを得ず此に出づるは、今のまゝにて並まず全國の治ゝ外人の下に受くる日あらん、豈に啻に交通部の特別會計のみならんや

THE KAMIYA TRADING Co., Ltd.

KMY

營業種目
棉花、棉糸布、雜穀肥料、製油原料、砂糖、機械、雜貨、陶器

上海泗涇路九號
神谷商事株式會社上海支店
電話中三八七五

本店　東京市日本橋區本石町三丁目
支店　大阪、神戶、名古屋、上海、漢口

營業主目
一般電氣ニ關スル工事ノ設計及請負監督
一般電氣及工業ノ經營並ニ之ニ對スル資金ノ直接又ハ間接ノ供給及融通
一般工業用機械材料及原料ノ賣買並ニ仲介及代理
一土木建築ノ設計及請負監督
一以上各號ニ附帶スル一切ノ業務
一般商品ノ賣買並ニ其仲介及代理

中國工商株式會社
（香港路A六號）
支配人室中　四七三〇
事務所中　二六二八
〃中　二六八六
社宅北　一八七六

C. ITOH & Co.

營業種目
●輸入　綿糸、綿布、雜貨、金油機械、染料
●輸出　綿花、雜穀、肥料、脂屬麻、絹綿麻布、五金

伊藤忠商事株式會社上海支店

紅　伊藤洋行
上海漢口路五號
本店　大坂
支店　東京　神戶　横濱
京都　小樽　今治
大漢口　天津　香港　馬尼剌　新嘉坡
甲谷他　紐育　倫敦　孟買　ヤシ
海外支店及出張所
電話
疫會雜計　營業部席　支配人辦務　部宿
三四九一　三七五八　三四九一　三七五八　三四九一

營業主目
▲朝鮮總督府賣買局所管▼
高麗參丸
●人參の精粹、
●使用に至便
●携帶に至便
●朝鮮人參に其エキスの粉末を混和調製せり
●本劑は其形効力頗る強大
事務家、旅行者日常の携帶、使用に良し
細粒然も
大瓶　百粒入（六日分）　大洋七角
小瓶　五十粒入（三日分）　大洋四角
▼到る處の有名藥店に販賣す▲
（大物實）

各省が銅貨を濫鑄して市面に害を貽すことは本局は大總統に呈請し幣造廠に銅貨鑄造見合せを訓令することゝなれり並びに海關に輕質銅貨の輸出入禁止を通令し一面補助貨幣劃一法を妥定し各省に實行せしめ以て幣制を重んじて流毒を免かれしめん計畫あり云々

●海軍卒業生北行

松花江黑龍江の江防司令處は同地にて軍備を擴張し砲台を建築する爲め海軍人才を要するを以て海軍卒業生若干名を送られたしと上海々軍總司令處に申込み來りたるを以て總司令部にては海軍卒業生二十名を軍機彈藥と共に軍艦靖安にて同地に向はしむることなれり

●上海米價下落の傾向

江西蕪湖米を始めとし最近上海に運搬さるゝもの頗る多き爲め米價は漸次下落の傾向あり一石九元七八角なりし上等米は八元六七角となれり

●過激派に對する警戒

上海某租界に過激派が暗殺機關を組織し三人を以て一隊とし爆烈彈等を携帶して各方面に出動せんとすとの消息を得上海防守司令部にては七日午前十一時軍警會議を開き八日より平服探偵を南北二停車場に派遣し又た租界外の旅館及び各汽船碼頭にも探偵を派し高昌廟斜橋龍華一帶の軍事區域は特に警戒を嚴重にし休暇に當る兵士は出外を禁じ居れり

●米國實業視察團來滬

米國シャートル實業視察團一行は昨十一日午前アドミラル汽船會社汽船ホーナンチー號にて上海に着せり支那實業家等は同日牛淞園にて歡迎午餐會を開き同夜米國商業所は倶樂部にて茶話會を開けり一行は同船にて十三日馬尼剌に向ふ

●英人支那協會會議

英國人中國協會上海公會は十日英國商業會議所にて會議を開きたるがピアス氏主席となり會務及び一年中の經過を報告し會員數は昨年三月は三百七十六人なりしも本年は三百二十八人に減少せり其の原因は會員名簿を逐年修正せず歸國するものも其改正するに當り多數の人が永く上海を離れたるを知り其の名を削除したるが爲めなりと云ひ又た演說に於て支那の政局四川省の匪亂幣制改良及び上海の銅貨問題等に論及し又た本年報告中の一特點は留英支那學生の教育問題にて中英友宜會は英國に赴くべき支那學生の爲め指南となるべき一種の小冊子を發行せりといへり

●招商局の前途

招商局輪船公司株金等は同局は毎年好成績を示すより局務に對しては放任主義を取り居たるが本年十一兩五錢の利息を分配されたるに對し一般株主は頗る不滿にて同局一二高級辦事人が種々勝手なる振舞をなすものとし整頓の第一着手として辦事人は董事を兼ねるを得ざることゝすべしと唱ふるものあり改革の聲高まる模樣あり

金融市況

●自年年至年五月六日至年年五月十三日　上海の金融及外國爲替

○金融　綿糸布雜穀類の引合一層增加したる傾向あるも商談の纏まるもの僅微少にして各銀行共依然多額の遊金を擁し放資の道に苦め居り從つて金利更に低下し支那銀行は年一分四分の三なる稱す、銀の移動は漢口天津より當市場へ更に當市場より香港へ流出する事前週に於けると同樣經過を辿れり

輸入

銅錢	天津より
墨銀	天津より
銀塊	漢口より
銀塊	湖州より
銀塊	米國より
銀塊	香港へ
銀塊	蘇州へ
銀塊	鎭江へ
銀塊	長春へ
銀塊	廣東へ
銀塊	寧波へ
銀塊	厦門へ

○爲替　前週以來獨逸レバレーション問題懸案の決定及米國輸出減少等の事情の爲め漸次回復の兆を呈し初週三弗九十七仙に始まりて三弗九十九仙半に終れり

●本週中銀塊及爲替相場

月日	銀塊相場	倫敦向電信	日本向電信
五月六日	35¼	3/3	74¾
七日	34¾	〃	〃
九日	33¾	〃	〃
十日	35¼	〃	74¾
十一日	35	〃	〃
十二日	34¾	〃	〃

●外國銀行在銀現在高

五月五日(木)　四月廿八日(木)

招商局	四,〇六〇,〇〇〇兩
墨銀	四,〇六〇,〇〇〇弗
銀塊	三,一,五六〇,〇〇〇弗
	三,一,三六〇,〇〇〇弗
	一兩

●上海取引所（五月十四日土曜日前場取引）

株式之部	現物	五月	六月	七月
甲號五分利公債	六八,〇〇	六八,〇〇	六九,〇〇	六九,〇〇
日本信託銀行	一六,一〇	一六,一〇	一六,一〇	一六,一〇
日支紡織株	一六,一〇	一六,一〇	一六,一〇	一六,一〇
日華紡織株	五五,〇〇	五五,〇〇	五五,〇〇	五五,〇〇
上海紡織株	一四〇,〇〇	一四〇,〇〇	一四〇,〇〇	一四〇,〇〇
上海ドック株	一四〇,〇〇	一四〇,〇〇	一四〇,〇〇	一四〇,〇〇
恰和紡織株	一四〇,〇〇	一四〇,〇〇	一四〇,〇〇	一四〇,〇〇
大阪株式取引所	三一,〇〇	三一,〇〇	三一,〇〇	三一,〇〇
上海取引所	四七,〇〇	四七,〇〇	四七,〇〇	四七,〇〇
綿糸之部	五四〇,〇〇	五四〇,〇〇	五四〇,〇〇	五四〇,〇〇
現物	五月	六月	七月	八月
水月十六二十組合セ	一四三,五〇	一四四,〇〇	一四四,〇〇	一四四,〇〇
中國綿糸十六手	一四三,〇〇	一四三,五〇	一四三,五〇	一四三,五〇

公人私人

▲知識信治氏（大阪朝日新聞廣東派員）八日寄滬
▲大谷藤次郎氏　十日歸京
▲見城重平氏　七日回滬
▲島定次郎氏　九日來滬

前週中郵便局圓銀相圓場（金壹圓に付）

月日	墨銀	圓銀
五月一日(土)	〇、九八六五	一、〇〇〇〇
八日(日)	〇、九八六五	一、〇〇〇〇
九日(月)	〇、九八二五	〇、九八五九
〃	〃	〃
十一日(水)	〇、七九五	〇、七九五
十二日(木)	一、〇〇三五	一、〇〇三一
十三日(金)	一、〇一二六	〇、九九九〇

編輯餘錄

▼支那は文藝國である、實際に觸れずして先づ文章を作る、滑稽至極であるけれども、根本に觸れられず何事も生死を以てせねばならぬから、命が惜しいから文章の病に陷ると見れば間題にならうと、命が惜しい所から又文章が次第に發達し、次第に文章を以て終始し又文章が次第に效力となる效力があるから、次第に文章を以て終始し環り〳〵又環り其止まる所を知らない

▼乃で撤底的が嫌いで、不得要領の中に要領を得る、文章で鬪はすは同はマダ大丈夫である、文章で行かなくなつた時が、即ち異族から治められた時である、昨今財政困難の爲め文章力を以て財政總長と爭ひ、交通總長を爭ひ互にヮィ〳〵云つて居るが、文章の力は外人の吻や交通部特別會計に對する外人貴本團の非難や、將た小野興業副總裁の入京西原借款名義や、種々復雜した政爭をやつて、內閣改造問題は仲々片付かぬ、爾かく文章で以て爭はんと欲するも、爭れない時が來なくては支那人は思ひ付くまい、處が思い付いたときは、時に已に遲し北宋が理論に昇せ上がつて居るときに、元兵黃河を渉つたとか、羅馬人が有神論無神論をやつてる中に國が亡びたんかは、能く今日の文章萬能時代を語つて居る

▼歐洲の英、米洲の米、極東の日、世界は全く三分された、日英同盟繼續は成つたと同然、誰れが世界の劉備か、誰れが世界の諸葛亮か、仲々趣味ある世界となつた、日本人の露國に勝つて驕氣を生じ、全亞細亞勃興の前兆を逸したことは、誰れも氣付いて居るが、今後は驕氣段ではない、シツカリせねばならぬ、戒慎せねばならぬ、懲め懲まねばならぬ時である、之と同時に支那人も餘程分別せねばならぬ時である、親米派の存在が青年政客輩は更らに分別せねばならぬ、親米派の存亡の岐る所である、何んと云つても地理歷史人種文化は離れられない、日英同盟が繼續さるることは、親米派にとりて因る事であろうが、西と東の二島帝國が手を握り合ふて居る間は、世界の平和は確保せられるに相違ない世界平和の爲め、親米派の對心ない樣なことはせない方が好かろう、又た亦ある、こは世界の爲めに妄りに支那政客に騙られぬ方が好かろう、アバズレ女に囚はれて居ると、米の天下にかける幣價は一落千丈になる、騙るものも惡るいが、騙られるものは更らに大恥辱だと知れ

EKC　兒玉貿易商行
上海英租界泗涇路八號
電話中央一八〇三番
支店　東京日本橋區通鹽町參番地
同　鹿兒島市洲崎町參番地
同　漢口英租界楊子街廿一號
代理店　內外護謨合資會社楊子江一帶
一手販賣店　南海晒粉株式會社（福印）
肥料、雜穀、羊毛、羊皮、豚毛、牛骨油脂、イタヤー類、護謨製品、毛糸晒粉、酸類、セロルード板琺瑯製品、縫綫、電氣器具其他

EI-KWA & CO.
EK　瀛華洋行
上海江西路十八號
電話中央一三〇九
出張所　神戶、漢口、蕪湖、沙市、宜昌

營業種目
棉花、綿糸布、絹紡料、雜穀、肥料、油臘、毛皮革、其他支那天產物等
小津武林起業株式會社
上海支店

OZU-BURIN & Co.
武林洋行
上海漢口路九號
電話中央（四二四六　一三五七）
本店　大阪
支店及出張所
東京、橫濱、神戶、漢口、沙市、宜昌、萬縣、重慶、大連、樊城、老河口、鄭州

營業品目
砂糖、雜穀、肥料、綿花、棉糸布、支那繭、麥粉、其他

安部洋行
上海福州路三號
電話（事務所中二四七三　住宅中二〇〇八二　西中一一〇五二）
增田屋　安部幸兵衛上海支店

本店　東京名古屋大阪下關神戶長崎臺南嘉義紐育那覇尼剌天津漢口
支店　打狗
出張所　甲谷陀

社會株式績紡華東

事務所　上海漢口路A號九

工場　上海華德路八號

電話　東三五四番

營業科目

海運業
船舶代理
并賣買仲立
一般輸出入

上海江西路五號
合資會社　申亨洋行
電話中三〇〇九

社會式株織紡華日

事務所　上海四川路五號
電話　九五二四中
　　九二四中
工場　東浦
電話　八九一中
　　五七五中
勞勃生路建築工場
電話一四九六七

歐亞聯絡最捷交通線

◎急行列車ハ最新式ノ一、二等寢臺車及食堂車ヲ聯結致居候

○大連長春間急行
下リ　長春着　月、木、金、曜日
　　大連着　日、水曜日
上リ　大連發　木曜日
　　長春發　月、木、金、曜日
○滿鮮直通（長春間）
　　釜山發　土、火、水曜日
　　安東發　日、水、木、曜日
　　長春着　月、木、金、曜日
○長春大連間急行列車
　　長春發　月、木、金、曜日　午後三時二十分
　　大連着　火、金、土、曜日　莫斯科行
　　○滿鮮直通（長春間）　午後三時二十分　聖彼得堡行
　　釜山發　土、火、水、曜日
　　安東發　日、水、木、曜日
　　長春着　月、木、金、曜日
　　急行列車　午後七時十分
　　午後九時五十分
　　午後四時四十分
　　午後七時十分
　　急行列車
　　午後五時四十五分
　　午前九時
　　急行列車
　　午後五時四十五分
　　午前一時二十五分
　　午前六時十分

注意（●印ヲ付シタル日ノミ運轉ス）
歐洲時局ノ爲メ當分ノ內

◉大連發急行列車ハ上海着ノ各航路汽船ニ接續致候

歐亞連絡間行程ヨリ
　　哈爾賓　二十四時間
　　大連　莫斯科　二十四時間
　　聖彼得堡　十日間
　　伯林　十日間
　　巴倫敦　十一日間
　　里迄　十二日間
　　迄　十二日半

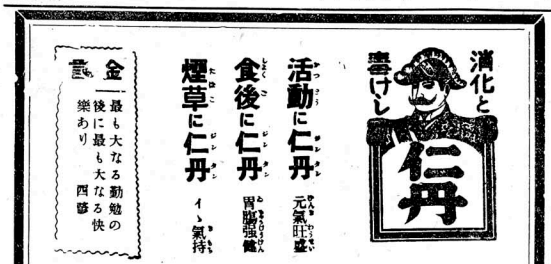
鐵道旅館　ヤママトホテル
大連、旅順、奉天、長春ニアリ
設備完全　食物精選大連市外星ケ浦ニハ海岸ほてるアリ
電報略號（YAMATO）

大連上海航路
使用船舶　神戸丸　三八七六噸
　　神戸丸　二八七七噸
兩船共船內無線電信局アリ
大連發火、金曜日正午
木、月曜日午前
上海發火、金曜日午前
木、月曜日午前
上海大連共ニ機關繫留
上海大連間航海時間三十時間
神戸丸十四海里航海時間四十一時間
速力
　　上海着　大連發ノ分（金曜日）
　　大連着　上海發ノ分（土曜日）
　　上海發ノ分（金曜日）
　　日曜日青島寄港
電報略號（AMINSEN）

撫順炭
滿洲內地ノ諸都市　大連、營口、旅順、安東、京城、天津、龍口、芝罘、青島、上海、香港、廣東、新嘉坡、馬尼剌、南洋諸島、打狗、浦鹽、其地東洋諸港到ル處ニ販賣ス

南滿洲鐵道株式會社

○本社大連市公園町　○支社東京市麹町區有樂町
振替貯金大連（二一九番）　電報略號（MANTETSU マンテツ）



營業科目
化學用玻璃器、醫藥用瓶其他、玻璃料器一切製造販賣
其他一般輸出入業

上海廣東路三十六號
北福洋行
電話三八九二番

文路壹號
山口商店
電話北四五九

營業科目
一般輸出入業
上海四川路A百二十八號
辛酉公司
「シャツ」製造販賣
中和工廠事務所
電話中三二三二
工場（上海戈登路千三百十五號）
（電話四一八二七）

●和洋家具類
●室內裝飾品類
●書畫骨董類
●諸物貨賣買仲次
●電機器具及工事
右十數年の經驗自信に依り大方の貴需に應ず
上海閔行路廿一及廿二號
上海便利社

國產奬勵
●敷島（四百本二十本）貳拾三仙
●朝日（四百本二十本）壹拾八仙
●白梅（四〇匁入）拾四仙
●サシキ（四〇匁入）八拾四仙
●アヤメ（四〇匁入）六拾五仙
●ライトハウス（五百本二十本）五拾六仙
　　壹弗七拾三仙
　　銀貨拾仙
東亞煙公司
電話北一〇五二番

特約店
松尾洋行
電話北三〇五三番
山口商店
電話北四五九番

廣告料
本紙掲載廣告の料金は行數の多少掲載期間の長短に依り特に御相談可致候間御用の方は端書又は（電話北二八五七）にて御一報被下度候

本紙定價（前金）
一部　銀十五仙　支金二十五錢
一ヶ月（四部）　銀六十仙　同壹圓
一年（廿六部）　銀三弗卅仙　同六圓
一年（五十部）　銀六弗　同八圓
（共稅郵都）
（共稅郵）

發行所　春申社
上海崑山路〇八號　電話北二八五七
印刷人　盧澤多美次
上海崑山路一、二號　電話北一三〇三
編輯兼發行人　西本省三
上海崑山路〇八號　電話北二八五七
振替口座福岡四七〇五番